リュックひとつで自転車旅行

のんびりと東京から北海道まで

カテゴリ

目次(1)
旅日記(26)
装備について(2)
プロフィール(1)
コメントページ(1)

2015年09月17日

このブログについて

このブログは井上崇史(いのうえたかし)が
2015/08/18にスタートした自転車旅行の旅日記です。

自転車旅行というと「準備も本番も大変、、、」
というイメージでしたが、実際やってみると
リュックひとつで何とかなってしまいました。

本ブログが、これから旅に出ようという方の
参考になりましたら幸いです。

自転車旅行、楽しいですよ！

目次

旅の始まり	http://onebagtrip.sblo.jp/article/163728031.html
Day1 東京都練馬区	http://onebagtrip.sblo.jp/article/163729931.html
Day2 栃木県日光市	http://onebagtrip.sblo.jp/article/163765919.html
Day3 栃木県矢板市	http://onebagtrip.sblo.jp/article/163774978.html
Day4 福島県南会津町	http://onebagtrip.sblo.jp/article/163893099.html
Day5 福島県喜多方市	http://onebagtrip.sblo.jp/article/163957540.html
Day6 福島県喜多方市	http://onebagtrip.sblo.jp/article/163960214.html
Day7 山形県山形市	http://onebagtrip.sblo.jp/article/164003496.html
Day8 山形県尾花沢市	http://onebagtrip.sblo.jp/article/164007838.html
Day9 宮城県石巻市	http://onebagtrip.sblo.jp/article/164022586.html
Day10 宮城県南三陸町	http://onebagtrip.sblo.jp/article/164028286.html
Day11 岩手県陸前高田市	http://onebagtrip.sblo.jp/article/164030093.html
Day12 岩手県釜石市	http://onebagtrip.sblo.jp/article/164031169.html
Day13 岩手県宮古市	http://onebagtrip.sblo.jp/article/164032945.html
Day14 岩手県宮古市	http://onebagtrip.sblo.jp/article/164053843.html
Day15 岩手県盛岡市	http://onebagtrip.sblo.jp/article/164060282.html
Day16 秋田県秋田市	http://onebagtrip.sblo.jp/article/164087033.html
Day17 秋田県能代市	http://onebagtrip.sblo.jp/article/164129632.html
Day18 青森県弘前市	http://onebagtrip.sblo.jp/article/164135846.html
Day19 北海道函館市	http://onebagtrip.sblo.jp/article/164174532.html
Day20 北海道亀田郡	http://onebagtrip.sblo.jp/article/164176537.html
Day21 北海道長万部町	http://onebagtrip.sblo.jp/article/164197972.html
Day22 北海道札幌市	http://onebagtrip.sblo.jp/article/164198078.html
Day23 北海道札幌市	http://onebagtrip.sblo.jp/article/164198122.html
Day24 北海道札幌市	http://onebagtrip.sblo.jp/article/164198168.html
Day25 太平洋	http://onebagtrip.sblo.jp/article/164198173.html
旅の終わり	http://onebagtrip.sblo.jp/article/164198176.html
装備について	http://onebagtrip.sblo.jp/article/162253508.html
旅生活について	http://onebagtrip.sblo.jp/article/162253686.html
著者について	http://onebagtrip.sblo.jp/article/162253142.html
コメントページ	http://onebagtrip.sblo.jp/article/164291521.html

リュックひとつで自転車旅行

のんびりと東京から北海道まで

カテゴリ

目次(1)
旅日記(26)
装備について(2)
プロフィール(1)
コメントページ(1)

2015年08月17日

旅の始まり

自転車旅行に憧れがあったんです。

徒歩よりも遠くへ、自動車よりもじっくりと。
自転車旅行には独特の魅力があるような気がします。

ブログを読んだり、実際に旅行した方とお話ししていて、
「いつか自分も」とずっと考えていました。

そしていま、僕にも少しまとまった時間が出来たので、
出発してみようと思います。

ただ、大荷物を持って旅行するのはちょっと大変。
リュック一つで気楽に出かけよう。

色んなものを見ながら、友人に会いに、
北海道まで行ってみようと思います。

いいね！ 0 ツイート 0

Powered by さくらのブログ

リュックひとつで自転車旅行

のんびりと東京から北海道まで

カテゴリ

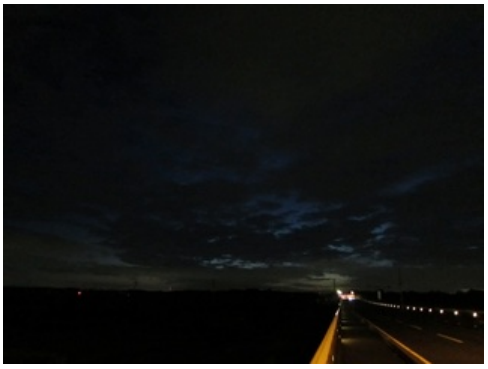
目次(1)
旅日記(26)
装備について(2)
プロフィール(1)
コメントページ(1)

2015年08月18日

Day1 東京都練馬区

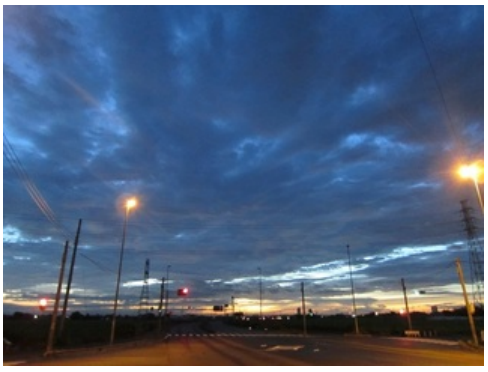
ワクワクしすぎて眠れない！
、、、ということで、午前2時過ぎに出発。

上板橋付近
街はまだ眠っています。



長い橋の上から

うわわ、見落とすところだった！
20円を投入、、、いまカランカランって音がしたんだけど、
もしやこれ、誰も気付いてないのでは、、、、、



今日はちょっと頑張って、160kmくらい移動する予定です。
早く都心を抜けて、非日常を味わいたいなぁ。

利根川を渡って、茨城県古河市へ

草ぼうぼうランド

謎のフルネーム

もしやフルネームはお土地柄？

お尻痛くなってきた、、、

宇都宮でひと休憩

雑な扱いを受ける餃子像

栃木アンテナショップにて。
サックサクの氷に、まろやかなジャム。たまらん！

いや～人生のベストかき氷でしたわ。

余韻を楽しみつつ出発。

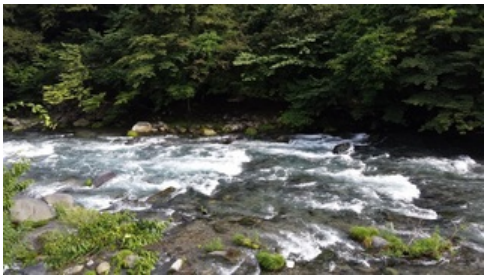
日光街道
側溝が深くてちょっと怖い。レインボーロード。

非日常になってきた〜！
『ルージュの伝言 / 荒井由実』を口ずさみながら快走。

道の駅で牛乳を飲む。

近々ここでオクトーバーフェストを開催するらしい。
ビールって対象年齢広いし、気軽に寄れるし、利益も上がりそうだし、
地域を盛り上げるには良いイベントかもね。

JR日光駅
見た目の通り、由緒正しき建物(Wikipedia)
二階の待合室では天皇陛下も休憩されたんだとか。



日光に来たのって、小学校の修学旅行以来かも。
みんな木刀買ってたなぁ。

本日のお宿に到着。

ひさびさの自転車で疲れた〜。
明日は体を休めつつ、ゆっくり観光しよう。

Day1 走行データ

練馬→日光

走行距離:156.4 km
獲得標高:810 m

いいね！ 1 ツイート 1

posted by Takashi Inoue at 00:00| 旅日記

Powered by さくらのブログ

リュックひとつで自転車旅行

のんびりと東京から北海道まで

カテゴリ

目次(1)
旅日記(26)
装備について(2)
プロフィール(1)
コメントページ(1)

<< Day1 東京都練馬区 | TOP | Day3 栃木県矢板市 >>

2015年08月19日

Day2 栃木県日光市

昨晩は「せっかくのドミトリー(相部屋)なのに、
他にお客さんがいなくて残念、、、」と思っていたら、
オーナーさんとじっくりお話しすることが出来ました。

日光の現状、宿屋の経営、旅人の生活。
こういう生の情報が聞けるのは楽しいですね。

長期旅行者の中には、ヘルパーとして滞在したり
(宿の雑用をこなすかわりに宿代を無料にしてもらう)、
現地で日雇いバイトをする人もいるんだそうです。

さてさて、本日は観光！ということで
まずは中禅寺湖までバス移動。

いろは坂を登るには、高性能なバスが必要なのかな。
お客さん満載なのに運賃ちょっと高め。

華厳の滝

The Tower Ⅱ 拡張パックの舞台として、一部のマニアに有名です。

滝つぼもグレイト。
滝を見てから視線を移すと、
世界がグニャグニャ動いて見える。

地滑りウォッチング
滑り評価の仕事をしたことがあるので、ついつい目が。

中禅寺湖の湖畔へ

標高が高いので、少し肌寒い

日光東照宮へのバスを待つ。
穏やかな時間。

東照宮に到着

平日でもさすがの活気。

東照宮(2Pカラー選択)

さてさて、そろそろ出発しますか～。

昨日の疲労感が残っているので、
今日はひたすら坂を下るだけ。矢板市までにしておきます。

謎のユルさ

塩谷町に入りました

道の駅で休憩

「故郷に錦を飾る」という感覚
海老名で生まれた僕は少し薄いかも。
歳を重ねると、違ってくるのかな。

塩谷町は放射性廃棄物の最終処分場候補地になっているそうです(資料)。
飲み水の源流になっていること、活断層があること、風評被害の恐れがあること、
など多様な懸念点が提起されていました。

エネルギー関連の問題は、スタンスを固めきれていない私。

モヤモヤしながら、本日の宿に到着。

Day2 走行データ

日光→矢板

走行距離:47.2 km
獲得標高:246 m

いいね！ 0 ツイート 0

Powered by
さくらのブログ

リュックひとつで自転車旅行

のんびりと東京から北海道まで

<< Day2 栃木県日光市 | TOP | Day4 福島県南会津町 >>

カテゴリ

目次(1)
旅日記(26)
装備について(2)
プロフィール(1)
コメントページ(1)

2015年08月20日

Day3 栃木県矢板市

本日は曇天。すでにちょっとパラパラ。

さっそく雨やどり

おおお、なんて充実ぶり。
もはや遊園地じゃないか。

Stravaのセグメントにしたら怒られるかな

サイクリングコースを進んでみる

ちょっと怖い、、、
と思ったら逆で、人→牛を警戒しているんですね(資料)

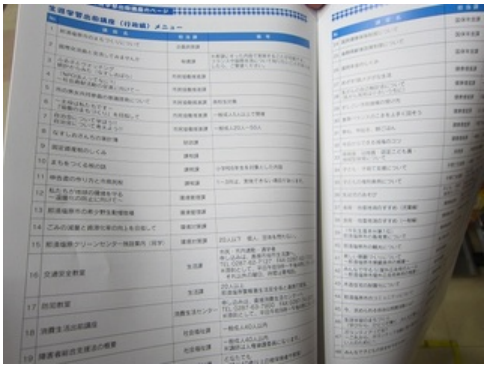
雨が止んだので出発

突然のオシャレカフェ
軒並み周囲が閉店している中、ここだけとても元気。

もしかして、今日あれ登るのかしら、、、

道の駅で休憩

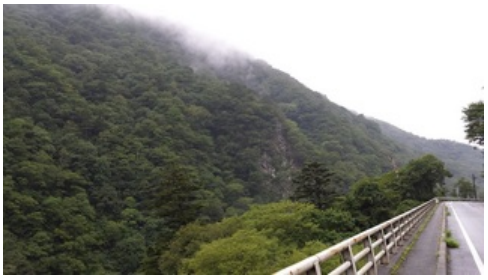
かんぴょうの原料、初めて見た！



生涯学習の需要は高そう

「人間の喜びは"成長実感"にある」誰の言葉だっけな、、、
スタンプラリーもそれを作る仕掛けなのかも。

本日の終着点まであと47km！
ここからいよいよ山登り！



ペダル音、呼吸音、じんわりと汗

下りでは、しっとりした風も心地良い

ただただ静か

飲み水が減ってきた、、、
早く終わってくれ〜と祈りながら登山

トンネルは終わりの合図

集落に到着
助かった、、、飲み水を確保。

お昼ごはん。この夏休み感。

天ぷらそばを頼んだら、とんでもない量のお通しが。
女将さん手作りの品は、どれも素晴らしく美味しい。

お隣に座っていたご家族に話しかけられ、しばし談笑。
お互いの旅程、東北の見どころや、道の情報など。
こういう触れ合いも旅の楽しみ。

とても良い気分で出発

平地に入って来たかな？

自転車を降りて、しばし風景を眺める

南会津町に到着

車両没収宣言

チェックインまで時間があるので、南会津駅へ。

明日、大内宿ってところに行ってみようかな。

あらら、降ってきちゃった。

駅前の宿で良かった～
温かいシャワーを浴びて就寝。

Day3 走行データ

矢板→南会津

走行距離：65.8 km
獲得標高：1212 m

いいね！ 0 ツイート 0

Powered by さくらのブログ

リュックひとつで自転車旅行

のんびりと東京から北海道まで

カテゴリ

目次(1)
旅日記(26)
装備について(2)
プロフィール(1)
コメントページ(1)

<< Day3 栃木県矢板市 | TOP | Day5 福島県喜多方市 >>

2015年08月21日

Day4 福島県南会津町

4日目の朝は、大盛りご飯でスタート。

駅で今日のルートを考える

山間の道を抜けて

大内宿に到着

とても上品に観光地化されています

トマトうまうま

″ねぎそば″に後ろ髪をひかれつつも、出発。
これからしばらく上り坂です。

てっぺんまで登ると、そこはダム湖。
小さくなった大内宿を眺めながら休憩。

これはもしや、、、ロックフィルダム！ 興奮！
（仕事の関係でちょっとだけ馴染みがある）

逆方向から大学生二人組が登場。
昨日、土砂降りのなか蔵王の峠を超えてきたらしい、、、ツワモノだ。

ランドナーに乗せてもらったら、ハンドルが重くてびっくり。
これだけ荷物を積んでいると、ハンドルを切るのも一仕事なんだなぁ。

ここから先は下り！
「Chronometer/桑原あい」を歌いながら駆け抜ける

こういうトンネルは、シェードっていうのか～(入口に書いてあった)
リッジレーサーっぽくて大好き。

トトロの世界

街が見えてきた！

街の中心部へ

会津若松駅に到着

駅前の商店街はとても賑やか。

こういう商店街って、いまどこもシャッター街に
なっているものと思ってました。

鶴ヶ城へ

天守閣

観光客で賑わう敷地内。
武将の恰好をしたガイドさんも。

武将と彼氏のツーショットを取りたい女の子。
「いや～恥ずかしいよ～」と男の子。
「いやいや、俺なんか毎日こんな格好してるんだぞ」とガイドさん。

いまこういう町おこし多いですね。
成功率ってどのくらいなんだろう。

城マニアの眞野さんに教えてもらってから、
石垣の積み方が気になってしまうワタクシ(Wikipedia)

しばらく眺めたあと、本日のお宿へ。

おお～いいねぇ！雰囲気あるねぇ！
今日はどんな人と相部屋になるかなぁ！

一人でした、、、

Day4 走行データ

南会津→喜多方

走行距離 : 70.5 km
獲得標高 : 528 m

いいね！ 0 ツイート 0

posted by Takashi Inoue at 00:00| 旅日記

Powered by さくらのブログ

リュックひとつで自転車旅行

のんびりと東京から北海道まで

カテゴリ

目次(1)
旅日記(26)
装備について(2)
プロフィール(1)
コメントページ(1)

<< Day4 福島県南会津町 | TOP | Day6 福島県喜多方市 >>

2015年08月22日

Day5 福島県喜多方市

五日目の朝
目覚めたものの、なんとなくダルい、、、
宿に置いてあった"るるぶ"を眺めながらダラダラ。

よし、決めた！ 今日はお休み！
観光の一日にしよう。

目的地は喜多方。
まずは歩いて塩川駅に向かいます。

塩川駅

置いてあったマンガを読みつつ、電車を待つ。
表紙にセリフって珍しい気がする。

喜多方行は奥のホーム

静かに到着、二両編成

姥堂駅
蓮の花がお出迎え(キツい)

喜多方駅に到着

観光地らしい雰囲気

徒歩で散策

なるほど、喜多方って蔵の街なのか。
だから喜多方ラーメンのお店って、あの外観だったのね。

もちろんラーメンも充実
駅周辺だけでも40店舗以上あるらしい

酒造発見

もちろん試飲

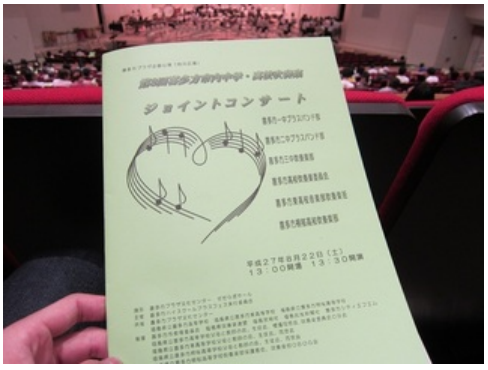
どれも美味しいんだけど、
特に左のマエストロ蔵粋(クラシック)が好み。
真ん中は少し酸味があって、右は古酒(クースー)と似た雰囲気。

店員さんと色んな話をしつつ、飲み比べ、飲み比べ、、、、
とても美味しかったので一本購入。

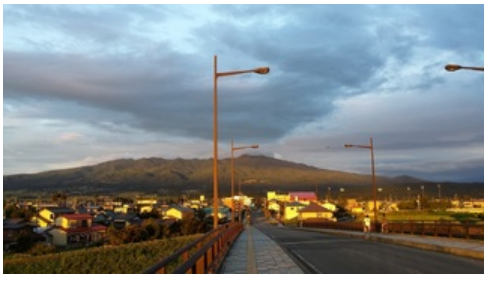
ほろ酔い気分で観光の続き

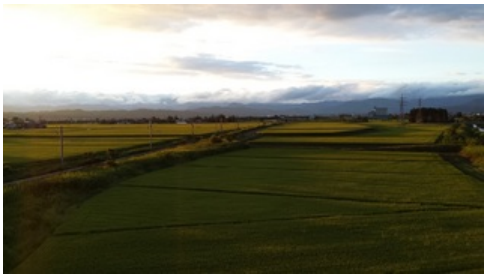
カフェでひとやすみ

お、今日学生コンサートやるんだ



入ってみました。
ブラスバンドも良いなぁ。東京に戻ったら色々聞いてみよう。
ドラマーの子が、金物を綺麗に鳴らしていて気持ちいい。





帰路

宿に到着
今日は三人！

買ってきたお酒で乾杯

窓の外は花火大会

Day5 走行データ

走行距離：0 km
獲得標高：0 m

いいね！ 0 ツイート 0

posted by Takashi Inoue at 00:00| 旅日記

Powered by さくらのブログ

リュックひとつで自転車旅行

のんびりと東京から北海道まで

<< Day5 福島県喜多方市 | TOP | Day7 山形県山形市 >>

カテゴリ

目次(1)
旅日記(26)
装備について(2)
プロフィール(1)
コメントページ(1)

2015年08月23日

Day6 福島県喜多方市

6日目の朝
牛も僕もやってること変わらんな。

人類の尊厳をかけて出発

休養明けは、気持ちよくスピードが出る

ガリガリ君を食べていると、女性ローディと遭遇。
これだけ荷物を積んでいるのに、なんかオシャレ。

全長4キロのトンネルを抜けると

米沢市

玄関が高い。雪国に入ったことを実感する。

除雪用かな？体重を乗せてフタを開けるとか。

米沢駅

駅前には意外と商店が少ない

昨晩、相部屋になったオッチャンから
教えてもらったラーメン屋へ(食べログ)

ひっきりなしにお客さん。
出てきたラーメンは、もちろんウマウマ。
こういう穏やかなラーメンって久し振り。

南陽市に入ると、あちらこちらにブドウ畑

すみませ～ん、一房売ってもらえませんか？
と聞いてみたら、、、

6房もらってしまった。
感謝を伝えつつ、談笑しつつ、新鮮なブドウを味わう。

体験したことのない旨み。
今後ブドウを買うときは、南陽産を要チェックだわ。

出発！

ホテル業界にも文章タイトルの波が

再び長いトンネルを抜けると

山形市！

あれはもしや、、、

出たー！ 一部で有名な、山形のタワーマンション！
この場所にこれを建てるディベロパーの戦略が凄い。

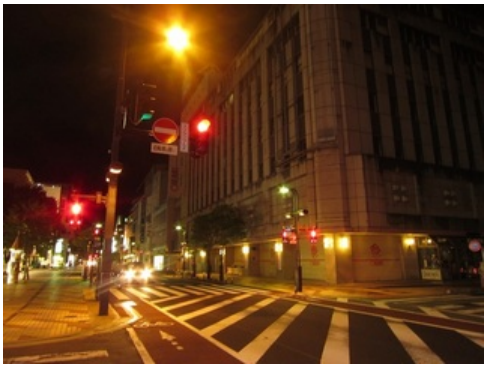
通りかかりのローディに
食べきれなかったブドウをおすそ分け。

お返しに塩キャンディをくれた。
わらしべ長者感。

都市部に入ってきたかな

山形駅

穏やかな雰囲気があって良い街だなぁ



お風呂の後は、夜の散歩

明日どこまで行こうかな

西ノ島の特集を見ながら眠りに落ちる

Day6 走行データ

喜多方→山形

走行距離 : 105.6 km
獲得標高 : 729 m

いいね！ 0 ツイート 0

posted by Takashi Inoue at 00:00| 旅日記

Powered by さくらのブログ

リュックひとつで自転車旅行

のんびりと東京から北海道まで

<< Day6 福島県喜多方市 | TOP | Day8 山形県尾花沢市 >>

カテゴリ

目次(1)
旅日記(26)
装備について(2)
プロフィール(1)
コメントページ(1)

2015年08月27日

Day7 山形県山形市

7日目の朝
ビュッフェスタイルはついつい食べ過ぎてしまう。

山形は自転車に優しい

今日のメイン、山寺へ向かう

どの山かな

山寺の入口
「登山口」という看板に恐れをなす

こりゃ大変そうだ、、、

登山の前に、名物ちからコンニャク
思わずもう一本食べたくなる美味しさ。
（恥ずかしいから控えたけど）

昔から石段を一だん二だんと登る
ことにより私達の煩悩が消滅する
信仰されている修行の霊山です。

芭蕉が「閑さや岩にしみ入る蝉の声」と詠んだのは
この場所なんだそうです。

芭蕉が訪れたのも少し涼しい時期だったのかな。
登山だし、真夏だと暑くて聴いてられないよね(笑)

下りてきました

山形へ戻る途中
サイクリングコースが並走しているようなので、入ってみる

進むべき道が頭上に、、、
寄り道をちょっと後悔

本線に戻ってきました

道の駅 天童温泉

お米ジェラート

山形空港に到着

飛行機関連の仕事もやったことがあるので、
空港が気になってしまうワタクシ。

リンゴは良いのかな、、、

斬新な剪定

出発

本日の宿泊地、尾花沢に到着

お、今日はお祭りなのかな

宿でひとっ風呂

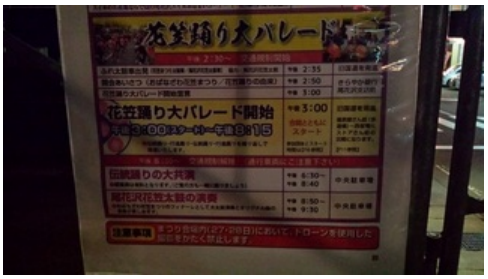
さっきのお神輿はこれだ。
ちょっと見に行ってみよう。

いいねぇ～この活気

すじこを販売する斬新な屋台

″どんどん焼き″を買ってみる。うまうま。

「これが懐かしの味なのよ」
「意外とふんわりさせるのが難しくてね〜」
などとお話を伺いつつ頂く。



「尾花沢 花笠まつり」並々ならぬ気合を感じる。
踊り手だけで3000人集まるらしい。

いや〜なんだか盛りだくさんの一日だったなぁ。
お祭りの余韻を楽しみつつ就寝。

Day7 走行データ

山形→尾花沢

走行距離：59.8 km
獲得標高：285 m

いいね！ 0 ツイート 0

Powered by さくらのブログ

リュックひとつで自転車旅行

のんびりと東京から北海道まで

<< Day7 山形県山形市 | TOP | Day9 宮城県石巻市 >>

カテゴリ

目次(1)
旅日記(26)
装備について(2)
プロフィール(1)
コメントページ(1)

2015年08月28日

Day8 山形県尾花沢市

8日目の朝、久々の晴れ！

こちらのお宿では、敷地内で有機栽培をされているそうです。
「いくらでも食べちゃって～」とトマトを頂く。
この甘み！たまらん！

子供花笠隊が回ってきました
この地域の方々は、踊りが体に染みついているんだとか。

たっぷり雑談した後、お礼を言って出発。

「今度は冬おいで～ 雪で一階が埋まってるから(笑)」
すごい世界だ、、、でもちょっと興味ある。

銀山温泉へ向かう

田園地帯を抜けて

銀山温泉に到着

袴を着ている子もいて、とても良い雰囲気。

ご当地ジュースを買ったお店で
「宮城に抜けるなら近道あるよ！」と教えてもらう

ここが近道の入口かな

まるっきり林道じゃないか！！

怖い怖い怖い！！！！

ヘビが寝そべってるし、茂みはガサガサ言ってるし、
木の実いっぱいのフン(たぶん熊)が落ちてるしぃぃぃぃ！

景色は良いけども！景色は良いけども！！！

(、、、というわけで、冷や汗をかきながら
必死に漕いだので、ここからしばらく写真がありません)

林道を上りきると、草原が広がっていました

涼やかな風が吹き抜ける、静かな牧場

どんどん近づいてくる、、、なんか怖くて逃走

頂上から

下りの林道もヤバめ

ようやく国道に出た！ 怖かった、、、

加美町付近
久しぶりの賑わいにホッと一息

本日の宿泊地、石巻に到着
これから数日は被災地をめぐる予定です。

このあたりは被災地じゃないのかな？

、、、と思いきや、どのお店も看板がピッカピカ。
これってやっぱり被災後に建てたということかな。
無言の怖さ。

マンションには津波の避難表示

本日の宿に到着

うおお～！ オシャレ！安い！ 大満足！
(ロングビーチハウス紹介ページ)

レストランも良い感じ！
まさかの青酎を頂きながら、店員さん・お客さんと談笑。

※ 青酎 … 箱庭好き・離島好きの憧れの地、青ヶ島の焼酎

明日はロングビーチハウス主催で、漁師体験ツアーがあるらしい。
話の流れで、飛び込み参加させてもらうことに。

こういう予想外っていいなぁ。

Day8 走行データ

尾花沢→石巻

走行距離：115.1 km
獲得標高：828 m

いいね！ 0 ツイート 0

posted by Takashi Inoue at 00:00| 旅日記

Powered by さくらのブログ

リュックひとつで自転車旅行

のんびりと東京から北海道まで

カテゴリ

目次(1)
旅日記(26)
装備について(2)
プロフィール(1)
コメントページ(1)

<< Day8 山形県尾花沢市 | TOP | Day10 宮城県南三陸町 >>

2015年08月29日

Day9 宮城県石巻市

9日目の朝、午前3時
お酒が抜けないまま、ミーティング開始

闇夜の中、狐崎まで移動
(飲んでいない店員さんが運転してくれた)

漁港に到着

定置網漁

漁師さんの鮮やかな手さばき

なんて豪華な朝ごはん！
思わぬところで、貴重な体験が出来てしまった。
（ロングビーチハウスさんのツアーレポート）

続いて、海さくらさんのゴミ拾いイベントにも参加

食器や壁材、パイプなどがあちこちに散らばる。
被災の跡はまだ残っている。

お昼前、みなさんにお礼言ってから出発

女川に到着

震災から四年半
高台にある街の機能は戻りつつある様子
でも海岸沿いはまだ地盤を作っている段階なのかも

海岸線を伝って、いくつもの港町を抜ける

北上川 河口付近

ひらけていて眺めの良い場所だな～
と思って走っていたら、途中で気が付きました。

ここは全域が流されてしまった土地なんですね。
被害の甚大さに言葉を失う。

海岸沿いは、どこも工事中
トラックがひっきりなしに行き交う

南三陸町の中心地に到着

ここも街がなくなっている

賑やかな音をたどっていくと、そこには商店街が

今日はお祭りをやっているみたい

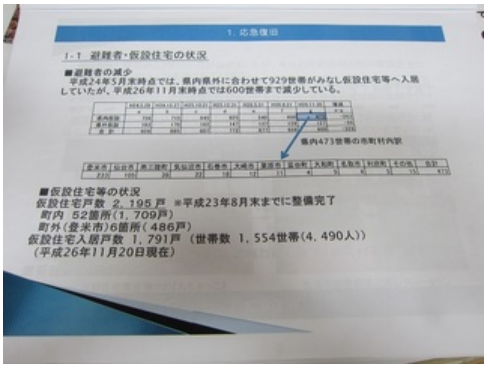
この揚げダコ、とんでもなく美味しい！
たまらず 2パック食べてしまった。
南三陸はタコの名産地なんだそうな。

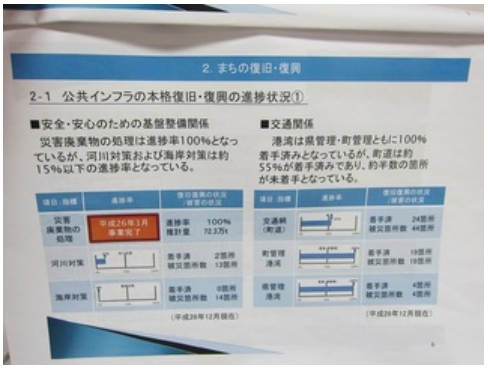
駅って書いてあるけど、線路が無いような、、、

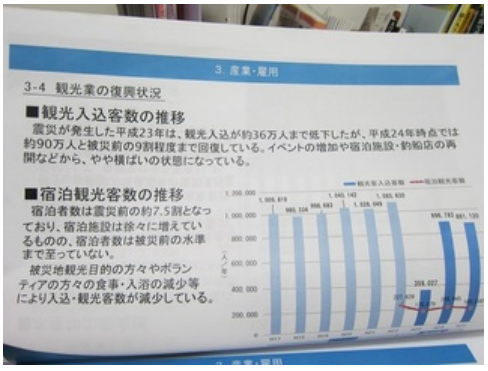
かつての街並みが展示されていた

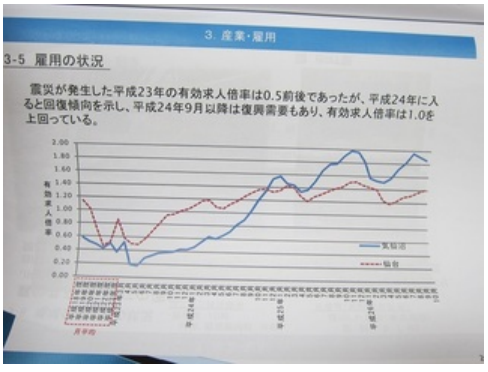
本日の宿に到着

お風呂のあと、資料コーナーに寄る









うーむ、、、
やっぱりいまはガレキが全部片付け終わって、
土壌を造成しているって段階のようだ。

さっきの線路の無い駅はこれだ！
JRがバスを運用しているんですね。

南三陸さんさん商店街
仮設建屋だけど、とても明るいイメージ。
復興の象徴的な場所なのかもしれない。

色んな資料を読むうちに、夜は更けてゆく、、、

Day9 走行データ

石巻→南三陸

走行距離：74.0 km
獲得標高：905 m

いいね！ 0 ツイート 0

Powered by さくらのブログ

リュックひとつで自転車旅行

のんびりと東京から北海道まで

カテゴリ

目次(1)
旅日記(26)
装備について(2)
プロフィール(1)
コメントページ(1)

<< Day9 宮城県石巻市 | TOP | Day11 岩手県陸前高田市 >>

2015年08月30日

Day10 宮城県南三陸町

10日目の朝
雨が止んだタイミングで出発

再び海岸の方へ

海岸線を進む

道の駅で休憩

おおお、いいねぇ。
「生産者：個人名」みたいな商品がたくさん

メカ味付煮と、ホヤおにぎりを買ってみた
（メカってなんだ？）

メカジキでした。

これがホントに美味しかった。
ホヤは、、、苦手かな(笑)

気仙沼に到達

海岸近くは、やはりこの状態
でも活気を感じる街

土砂降りになってきたので雨宿り

シャークナゲット、試してみるしかないっしょ！
気仙沼はサメ(ふかひれ)が名産らしい

うまうま。
鳥肉と白身魚の中間って感じ。

アカペラも聴いてゆく

雨が止んできたので、再び海沿いを走る

被災の跡が未だ残る

たい焼き屋さんを発見

うまうま。
食べながら、女将さんやお客さんから色んな話を伺う。

被災地では「かさ上げ」と言って、
土を積んで港を高くする工事が行われているんだそうだ。
（何メートルかさ上げするかは、国の基準で決まっている）

「一年後には、かさ上げでここも退去しないといけないんだよね。
その後はどうするかな～、、、まぁなんとかなるでしょ！」
という言葉に、元気をもらってしまった。

南三陸町の商店街も、かさ上げのタイミングで
退去しなきゃいけないから仮設店舗のままだったのかも。

三陸のアップダウンは厳しい

気仙川付近

地盤造成用の巨大なベルトコンベア

一本松ってここにあったのか！

一本松
小雨、曇り空、荒廃した建物、さざなみの音
ある種の幻想的な光景

道の駅だった建物の横に、資料館が建てられている。

言葉にすると薄っぺらくなってしまうので割愛。
とても感動的なのでぜひ見てみてください。

陸前高田市

被災地には必ずと言っていいほどイオンがある。

もちろんビジネスではあるんだけど、復興支援でもある。
いままであまり良いイメージを持てなかった企業だけど、
ちょっと見方が変わった。

今日の宿は、復興労働者用の宿泊施設を
旅行者にも開放したもの。

平和な世界を見つつ、就寝

Day10 走行データ

南三陸→陸前高田

走行距離：70.7 km
獲得標高：606 m

いいね！ 0 ツイート 0

Powered by さくらのブログ

リュックひとつで自転車旅行

のんびりと東京から北海道まで

カテゴリ

目次(1)
旅日記(26)
装備について(2)
プロフィール(1)
コメントページ(1)

<< Day10 宮城県南三陸町 | TOP | Day12 岩手県釜石市 >>

2015年08月31日

Day11 岩手県陸前高田市

11日目の朝、雨が止んでる！

ひさしぶりの乾いた路面、気持ちいい！

そうそう、かもめの玉子、大好きなんだよね。
どっかのタイミングで食べよう。

大船渡 付近
高いところに街があるためか、被災した感じは見受けられない

生牡蠣、美味しいんだけどな～
100%当たってるからな～、、、ということでパス。

盛駅 付近

気軽に登坂車線が出てくる
三陸の暴力的な地形

登り切ったところに道の駅

″がんづき″を買ってみる。
しっとりカステラって感じかな。うまうま。

お、カシオペアだ！
キーボードが女性になってる！

お昼ごはん、どこで食べようかな

出発！ 下り坂は気持ちいい〜！

と思ったら、すぐにまた登坂

羅生門じゃないか、、、

釜石市に突入！

いくつもの入り江を抜けてゆく

またしても登坂

道沿いには、数え切れないほどの工事現場

パンフレットに載っていたお店に
通りかかったので入ってみる

良い雰囲気だ、、、シーフードドリアも美味しい。

「うち、この雑誌に載ってるんですよ」
「あ、それ見てきたんです！」
「ええ～、じゃあなんでドリアなんですか(笑) ハンバーグ載せてたでしょ」
などと店員さんと談笑。

しかし話が復興関連に及ぶと一転、マジメな顔で熱く語ってくれた。
う～む、復興も一筋縄で行かない難しさがあるんだなぁ、、、

今日の宿泊地、釜石駅に到着

釜石は製鉄の街なんだそうです

やはりここにもイオン

連日、雨のなか走ってしまったので
自転車の調子を見てもらう

メンテの後にコーヒーを頂く。
観光スポットや、街のこと、被災時のこと、仕事のこと
色んなことを話して下さって楽しかった〜。

宿泊するホテルからの眺め。
今日はちょっと高級なビジネスホテル。

自転車屋さんに教えてもらった
釜石で一番古い飲み屋さんへ

いいねぇ～安くて美味しい！

帰り道
白い煙が、夜の空に映えていた

Day11 走行データ

陸前高田→釜石

走行距離：58.9 km
獲得標高：1257 m

いいね！ 0 ツイート 0

Powered by さくらのブログ

リュックひとつで自転車旅行

のんびりと東京から北海道まで

カテゴリ

目次(1)
旅日記(26)
装備について(2)
プロフィール(1)
コメントページ(1)

<< Day11 岩手県陸前高田市 | TOP | Day13 岩手県宮古市 >>

2015年09月01日

Day12 岩手県釜石市

12日目の朝
う〜ん、よく眠れた！ たまにはビジネスホテルも良いなぁ。

内陸に入って遠野に行くか、海岸線を進んで宮古に行くか、
悩んだ結果、もうちょっと海岸線を進むことにしました。

これまで何度も見てきた、典型的な入り江の光景
津波到達域の看板、堤防建設、地盤造成、トラック、コンビニ、ドラッグストア

陸橋から臨む、川の上流側

下流側

吉里吉里って名前が気になって、駅に寄ってみる。
昔そんな名前のエディタがあったような。

いまは使われていないみたい。
ひとまずSwarmでチェックインだけしておく。

このセンス、ちょっとツボ

曲がったままのフェンス

もう坂は慣れっこ

道の駅 やまだ

道の駅は楽しいなぁ。
その土地の生活が垣間見える。

ダツ！ めっちゃ怖いやつだ！（資料）
値段は安い気がする！

道の駅のこれ、誰がどのタイミングで使うんだろう、、、

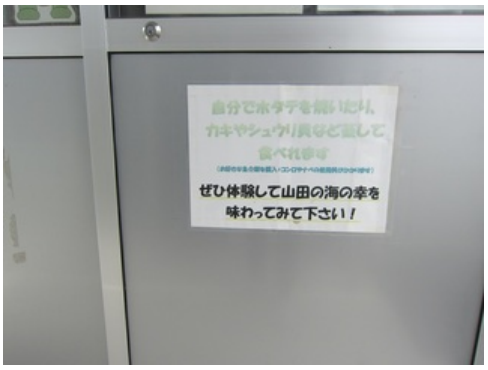
山田町に到達
震災で壊滅的な被害を受けた町です。
（釜石の自転車屋さんに教えてもらった）（Wikipedia）

堤防の構造・高さが、被害の大きさを思わせる

復興も長丁場になりそう

街を抜けると素晴らしい眺め。
この眺めを失ってでも、あの堤防を作ろうというんだから
その物理的・精神的被害の大きさは推して知るべし。

お、寄ってみよう。
フラットデザインって良いよね。



定休日。これは残念、、、
海産物をその場で蒸し・焼きなんて最高なのに、、、

悲しみの登坂

もはや登坂もどうってことないな
すっかり慣れてしまった

宮古市に突入

ここも被災地
一階と二階の色が違う家が多い

耐え難い空腹感により、
ご飯屋さんに吸いこまれる。

うおお～予想を遥かに上回る美味しさ！

でもこの味どこかで、、、そうだ、玉子わかめスープ！
玉子わかめスープに、ホタテとか牡蠣とか海鮮てんこ盛り！
帰ったら自宅でもやってみよう。

付け合わせの麻婆豆腐が、地味に異彩を放っていた。

宮古の市街地に突入
なんだろうあれ。

宮古駅
疲労感も溜まっているし、明日は一日オフにしよう！
ということで、観光案内所で明日の宿を紹介してもらう。

※ 観光案内所には、楽天トラベル、じゃらん、一休のような
宿泊予約サイトに載っていない安宿の情報がある。
（仲介業者に手数料を払うと利益が出なくなってしまう宿とか、
パソコンを扱えない店主の宿なんじゃないかと想像）

宮古の随一の観光スポット、浄土ヶ浜へ向かう

傾斜がエグいんですけど(笑)

到着

こりゃあ確かに素晴らしい

時間を忘れてのんびり

確かに浄土感ある

さて、これを登るのか(笑)

崖崩れ、キツイ傾斜
気を抜くとすぐに浄土に行ける

本日のお宿「休暇村 陸中宮古」
フロントの方の気さくなトークが良いね。

一人で泊まる罪悪感！

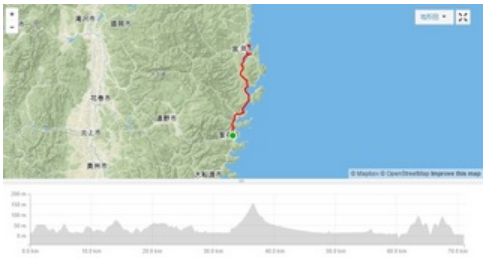
あーでも最高、、、
施設もサービスも充実。
まさに休暇のための施設。

アイス食べちゃう！

ビール飲んじゃう！

、、、旅館の、このスペースって良いよね。

Day12 走行データ



釜石→宮古

走行距離：71.0 km
獲得標高：863 m

いいね！ 0 ツイート 0

posted by Takashi Inoue at 00:00| Comment(1) | 旅日記

この記事へのコメント

こんな記事が出ていました。

『巨大防潮堤、被災地の海岸線に姿現す　戸惑いの声も』The Huffington Post
http://www.huffingtonpost.jp/2015/09/20/coastal-levee-in-japan_n_8167856.html?ncid=fcbklnkjphpmg00000001

Posted by Takashi Inoue (著者) at 2015年09月22日 10:19

Powered by さくらのブログ

リュックひとつで自転車旅行

のんびりと東京から北海道まで

カテゴリ

目次(1)
旅日記(26)
装備について(2)
プロフィール(1)
コメントページ(1)

<< Day12 岩手県釜石市 | TOP | Day14 岩手県宮古市 >>

2015年09月02日

Day13 岩手県宮古市

12日目の朝
せっかく良い部屋なので、のんびり満喫

オシャレなパンフレットたち
休暇村は日本各地にあるらしい

岩泉ヨーグルト
朝食に出てきたこれ、もっちりしていて本当に美味しい。
東京に戻ったら取り寄せる所存。

宮古行きのバスを待つ

めっちゃ霧出てる

こういう時は、やっぱり一番後ろの席よね

宮古駅に到着

お土産屋ウォッチング

賑わいを見せる駅そば

僕も食べてみる。
いいねぇ、この優しい味わい。

″あずきばっとう″ って何だ、、、
試してみたかったけど、お持ち帰り用

※調べてみました

図書館を目指します

セミの声が全くしないんだけど、、、なぜ？

到着

開放感があって過ごしやすい

地域情報に目を通す

あの高い煙突は、銅の精錬所のものだったのか。

記事によると、酸性の煙を浴びても大丈夫なように、
純金の避雷針が付いているという噂があったけど、
いままで確かめることが出来なかった。
そして今回ドローンで見てみましたって話。

Mathematicaの本がある図書館、、、アツい

このシリーズも、ちょっと古いけど面白かった。
子供がいる限り需要がありそうだけど、
いま改版しても売れないのかな。

いや〜よく読んだわ

スーパーに入ってみる。
地域のお総菜や缶詰を買ってみるのもオツなものです。

アイスんまっ！

そろそろ宿に入ろっかな

これぞ宿泊サイトに載ってない宿！
一般家庭にお邪魔したような雰囲気を楽しむ。

明日はどうしようかな～
海沿い(久慈)と内陸(盛岡)
どっちに行こうかな～

Day13 走行データ
走行距離：0 km
獲得標高：0 m

いいね！ 0 ツイート 0

posted by Takashi Inoue at 00:00| 旅日記

Powered by さくらのブログ

リュックひとつで自転車旅行

のんびりと東京から北海道まで

カテゴリ

目次(1)
旅日記(26)
装備について(2)
プロフィール(1)
コメントページ(1)

2015年09月03日

Day14 岩手県宮古市

14日目の朝、午前5時過ぎ。
今日は早めにスタート。

宮古駅前

この時間帯は、走りやすくて良いなぁ。

今日は盛岡を目指します

登ってるんだか下ってるんだか、不思議な山道

なんかヤバい

道の駅で休憩

ついに"かもめの玉子"の小袋に出会う。
でも四個か～、、、四個でしょ～、、、う～ん、、、

やっぱりここでしか食べられないものを食べないとね！

うまうま！
でもこれ"ひゅうず"じゃないかも（Wikipedia）

無人駅発見

スカスカの時刻表がアツい

道の駅 区界高原

ほとんど登りを感じることなく峠に到着。
70㎞かけてゆっくり登ってきた感じかも。

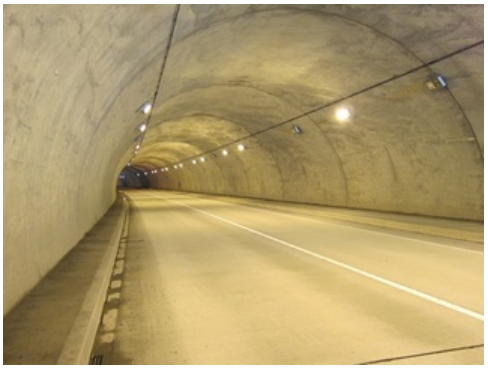
サヴァ缶、ちょっと気になる。
デザインって大事だなぁ。

さてさて、ここから下りですよ〜！

このセンス好きだわ

気持ちいい〜！
路面が良いし、傾斜もあるし、風景も最高！

『Your Vive / R4』を脳内再生しながら走り抜ける。



トンネルまで美しい！

いや〜素晴らしい峠だった。もう一回やりたい。

盛岡に到着

観光案内所へ

おしい！今日は何もイベント無いみたい。

じゃじゃ麺のお店を探す

パンフレットに載っていたお店、白龍へ

んまっ！ この独特のみそ味！

"じゃじゃ麺"は、最後の卵スープまでが型らしい（Wikipedia）

さてさて、まだ宿に入るには早いから、
小岩井農場に行ってみようかな！

ここも走りやすい、、、盛岡良い街だ。

小岩井農場の入口に到着
あと5キロって書いてあるんだけど、どんだけ広大なの。

あああー良い！ 北海道の先取り感！

、、、と感動しているうちに到着

カチョカバロ
6.2円

KOIWAI

チーズ製造室

しぼりたての牛乳です。「小岩井農場育ち」
KOIWAI
小岩井農場育ち

KOIWAI
小岩井農場育ち

いや～のんびりできた。

盛岡に戻る

本日のお宿

広い！

小岩井農場で買ったコインケース
なんかすごく気に入ってしまった。

Day14 走行データ

宮古→盛岡

走行距離：130.8 km
獲得標高：1172 m

いいね！ 0 ツイート 0

Powered by さくらのブログ

リュックひとつで自転車旅行

のんびりと東京から北海道まで

カテゴリ

目次(1)
旅日記(26)
装備について(2)
プロフィール(1)
コメントページ(1)

2015年09月04日

Day15 岩手県盛岡市

15日目の朝、ヤバすぎる雲行き。

絵になる登校風景

しばらくは、昨日通った道をなぞる

突然の土砂降り。

スーパーの軒下に避難していたら
掃除していた店員さんに話しかけられる。
「今日は自転車ムリでしょ(笑)」「ですよねぇ(笑)」

雨が弱くなったタイミングを見計らって再出発

また降ってきた。
今度は道の駅で雨やどり。

こりゃあしばらく掛かりそうだな

この二日間の行程が一枚絵に。
ライブカメラを見ると、峠の向こう側は晴れているみたい。

道の駅に手作りパン、最近のトレンドらしい。

まだ止みそうにないので

雫石バーガー
ていねいに作られている感じがします。
ボリュームもたっぷりで美味しい。

雨が上がった！
満を持して峠越え。

トンネルで工事渋滞。
なんか色々怖いから早く抜けたい！

下りてきたところで情報ステーションに入る

おお、あとは下りか。

しかし天気は絶望的

降ってくる前に出発

田沢湖 付近
クニマスって何かすごい魚なの？

みそたんぽ、いわな塩焼き。
ちょっと気になる、、、けど大体想像付くので通過

突然の豪雨、ジブリ的な雨宿り

こりゃ凄いな、、、
そしてバスが来たら気まずいな、、、

ふたたび晴れ！

「ひまわりは　密度高いと　ちょっとグロ」
心の一句

そしてまたドシャ降り
精米スタンドに雨宿り

また上がった！
雨が来るたび隠れるって、アクションゲームみたいだな。

角館を通過しようとしたら、″武家屋敷″なんて看板が。
ちょっと覗いてみよう。

広々とした道に、趣のある佇まい。
観光客もほどよく入っていて、良い雰囲気。

こういうの見るとモヤモヤする、、、
発明した人も、周りのお店も、お客さんも、
みんな幸せになるような方法は無いものか。

ひと回りして出発

またヤバいの出てきた。
風紀を乱す、その目つき。

道の駅 協和

商品見本

協和特産
イワナの燻製
道の駅協和

じゅんさい
じゅんさい
じゅんさい

ジビエの充実

秋田に入ったんだなぁ

天国

コーヒーと、いぶりがっこ

進行方向の先の方
雨が降っているようだったので
念のためコンビニ避難

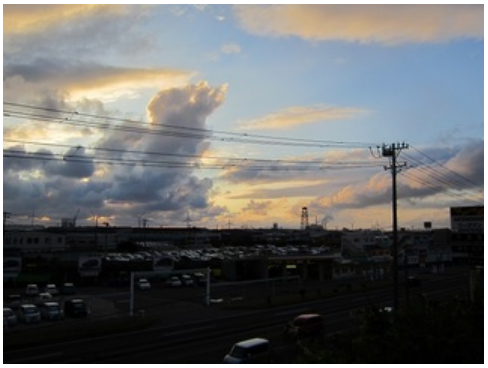
やっぱりきたか、、、

うおお〜すごい降りかた

どこまで行っちゃうの

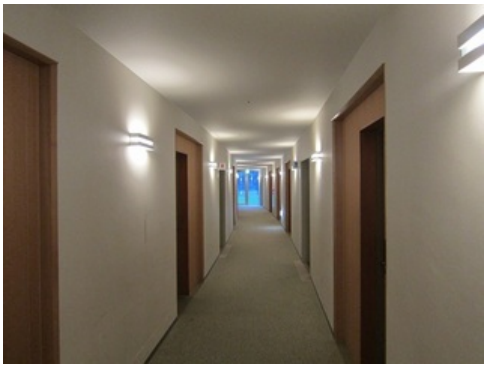
でも止む

秋田の空



市街地に突入

本日の宿に到着



ぬおお、この値段(¥3400)で
こんなに良いところに泊まって良いのだろうか、、、

夜ごはんも美味しかった(別料金)。

いつものビールを買いにコンビニへ
(サントリー Special Bitter)

コンビニの店員さんも、宿の受付さんも、
やったら感じがよくて幸せな気分。
僕もああいう応対が出来るようになりたいなぁ。

一人だとちょっと持て余す

Day15 走行データ

盛岡→秋田

走行距離：121.1 km
獲得標高：977 m

いいね！ 0 ツイート 0

Powered by さくらのブログ

リュックひとつで自転車旅行

のんびりと東京から北海道まで

カテゴリ

目次(1)
旅日記(26)
装備について(2)
プロフィール(1)
コメントページ(1)

<< Day15 岩手県盛岡市 | TOP | Day17 秋田県能代市 >>

2015年09月05日

Day16 秋田県秋田市

16日目
良い宿だと、朝ダラダラしちゃう幸せ。

貨物列車ってなんか良いよね

ひときわ高い建物が見えたので
ふもとまで行ってみたら、道の駅。

サバとアジが釣れるらしい

きりたんぽ
300円
400円

ババヘラって初めて聞く名前だ

ご当地の味なのかな

試してみる。

うん、悪くない、悪くはないんだけど、
僕は甘いソフトクリームが好きだなぁ。

朝ソフトの背徳感をかみしめつつ、出発！

なんのパーツ？

スナイパーに狙われているような気がして
落ち着かないFPS病

海岸線を走り抜ける

一本外側にサイクリングコース発見

気持ちいい〜！

飽きた。

だって単調すぎるんだもん、、、
ひとりダダをこねる。

少し進んだところに道の駅

コハダが驚きの大きさ

展望台

展望台の下には、これから向かう大潟村の資料館

※ 大潟村…日本第二位の大きさの湖、八郎潟を干拓して作られた村(Wikipedia)

美味しそう、、、思わず購入

うまうまっ！
食べながら、販売員のおばさま、通りかかりのおじさまと雑談。
秋田もええところや。

牛筋がとても美味しかったので、煮込みの方も購入。
ボリュームたっぷりでお腹いっぱい。

元気になったところで、出発

男鹿半島の入口

男鹿半島へ向かう車は多い

右折して八郎潟方面へ

うおおおお、絶景だ〜！

いなほ畑でつかまえて

そして大潟村に突入

まっすぐ！ ひたすら まっすぐ！！

道の駅 おおがた

湯茶豆
大特価！（700ｇ）
￥５００

大潟村のご案内
Guide to Ogata Village

漬魚
漬魚

サケ水煮 432円
ぜんまいず煮 432円

干かすべ
北海の珍味
竹中商店
切たら
竹中商店
竹中商店
干しかすべ 200g
1234円
竹中商店
切たら 300g
885円
¥540

東北なまりを見ると、オクターヴを思い出す。

併設されている博物館にも入ってみる。

かいつまんで紹介すると
・大規模で効率的な農業を行うモデル地区として、大潟村が生まれた。
・八郎潟の干拓に際しては、土木業者等の賛成派、漁業関係者等の反対派がいた。
・全国から移住希望があり、住民選抜が行われた。
・実際農業を始めてみると、ズブズブ土壌で大変な苦労があった。

ただならぬ苦労が感じられたものの、
「なぜ干拓してまでこの土地を生み出す必要があったのか」
という点については読み取り切れず、、、土木雇用の創出かな。

大潟村の市街地
シムシティの低密度 高級住宅街みたいな雰囲気。
住み心地が良さそうだ。

一回りしたあと、出発

大潟村は基本的に一本道なのですが(赤ルート)
せっかくなので中心部を通ってみます(緑ルート)

なんと砂利道
本線まで 7km の道を引き返す

戻ってきました

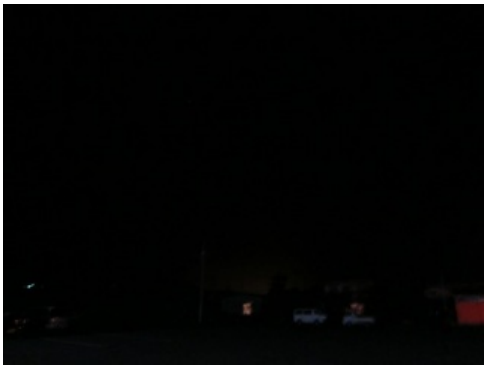
Age of Kingsの粉ひき所を思い出す

大潟村を抜け、能代市へ

歩道橋に屋根と壁って珍しい。雪深いから？

本日の宿に到着

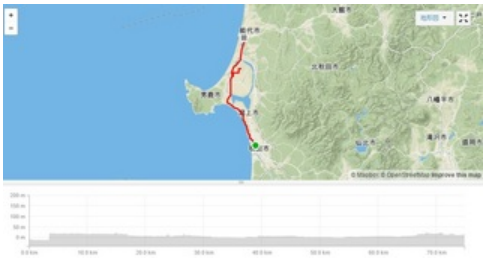
今日は距離のわりに疲労感、、、
やっぱり単調なストレートって苦手かも



夕食後、まっくらな外に出てみると

そこには星空が広がっていた。

Day16 走行データ



秋田→能代

走行距離：74.8 km
獲得標高：105 m

いいね！ 0 ツイート 0

Powered by さくらのブログ

リュックひとつで自転車旅行

のんびりと東京から北海道まで

カテゴリ

目次(1)
旅日記(26)
装備について(2)
プロフィール(1)
コメントページ(1)

2015年09月06日

Day17 秋田県能代市

17日目
たっぷりの朝ごはんでスタート。

この民宿は、もともと食堂・お弁当屋さん。
オヤジさんの料理人としての矜持みたいなものをお聞きして、
大いに刺激を受ける。

今日の目的地は弘前
海沿いを回ってゆくか、山道を抜けてゆくか、、、

山道に決めた！

海沿いは、ちょっと観光地っぽいので
別の旅行で行く機会もあるかもしれない(資料)

より未知の世界、この旅でしか行けない場所へ！

おお！ このあたりが話題の白神山地か！

道の駅 きみまちの里

ANA
isube! 9
isube! 9
TAKE FREE
TAKE FREE

黒豆きなこ ¥410
きなこみどり ¥410
あん玉 ¥410

¥390

大福
おはぎ

コーナー

この"もろこし"ってお菓子おいしい！

典型的な砂糖菓子の味なんだけど、
口当たりがとてもやわらかい。

道の駅で、ペット向けの商品は初めて

貸しカゴって良いシステムかもね。

生産者が、カゴのなかで
商品も値段も試行錯誤できて
モチベーションが上がりそう。

8号線沿いは、道の駅がとても多い。

道の駅 たかのす

併設されている、大太鼓の館

ニュースでたまに「日本一の大太鼓！」って
取り上げられるのはこの街。

嶽きみ
青森県 弘前市 嶽地区のブランドとうもろこし

じゅんさいは、たくさんあると、ちょっとグロ

ここにきて馬肉文化
九州だけじゃないんですね。

バラ売りしていたので、一個買う。
んまっ。

出発

生産者が集まって、
販売店を運営しているところも。

こういうのって、道の駅とどう違うんだろう？

早口駅 付近
7号線沿いは緩やかに住宅街が広がる。

コンビニで休憩
ローソンのチョコクロワッサン好き

大舘の市街地に突入

病院が大きい。
人口がありそうだ。

路側帯が広くて嬉しい

初めてみる名前のイオン

このあたりは地名がカッコいい
釈迦内(しゃかない)、獅子ヶ森(ししがもり)、新乱川(しんみだれがわ)など

徐々に山道

とても静か

なごむ

ムック、ガチャ、ガチャ、ガチャ、ムック！

傾斜がキツくなってきた

登り切ったところで休憩

ママチャリに乗ったおじさんが
坂を登って来たんだけど、、、驚愕。

峠を下ってゆくと
道の駅 いかりがせき

「北海道・北東北の縄文遺跡群」
世界遺産登録推進フォーラム
あおもりの縄文遺跡
世界が認めた
伝統工芸
南部鉄器まつり
奥州市
Made in Japan
10月 3日・4日

¥295
¥295

前
生どら焼

マルメロ とは?
果実"かりん"の仲間であり、同様にマルメロもぜんそくや咳止めなどにも良いとされるが、そのままでは非常に渋くて食するのが困難なため、果実酒やシロップ漬けなど加工し、昔から愛用されてきた果実である。
秋ヶ関ではまるめろを使ったカレー・お菓子・ソフトクリームなど多数商品化して販売中。

りんご商品で、青森への到達を実感。

マルメロ食べてみようかな、、、あれ？
コインケースが無い！？ どこ探してもない！！
小岩井農園の牛柄とっても気に入ってたのにいいいいいい！！

悲しみのたこやき（ふわふわ食感）

ショックとともに弘前市へ

会津と似た風景

さすがは青森
りんご運送の専門業者

これもなかなか見ない光景

市街地が近づく

弘前駅

駅前にお店が少ない

そうか、弘前城を中心とした街なのか

寺ラッシュ

観光案内所へ

青森と言えば、ねぶた祭り

″こぎん刺″に心奪われる。

スタイリッシュでいいね、コインケースを買いなおす。

旧弘前市立図書館
オシャレな外観もさることながら、
その小ささが、明治時代の書籍の貴重さを思わせる。

さ〜て、そろそろ宿にチェックインするか〜！

相部屋で話が盛り上がって、
夜ごはんを一緒に食べに行くことに。

定年退職後に、修士課程→博士課程と進んで、
民俗学・機械工学的な切り口から〝ろくろ〟の研究をされているんだそうな。

「軸受けの構造には、こんな工夫があって、、、」
「日本には複数の系統あるんだけど、このような仮説で説明できそう。」
「その裏付けを取るのが、今回の旅なんだよ」

ヤバい！最高！
こんな面白い話なかなか聞けないよ！

濃厚な〝ろくろ〟話で、夜が更けていくのでした。

Day17 走行データ

能代→弘前

走行距離：104.2 km
獲得標高：606 m

いいね！ 0 ツイート 0

Powered by さくらのブログ

リュックひとつで自転車旅行

のんびりと東京から北海道まで

カテゴリ

目次(1)
旅日記(26)
装備について(2)
プロフィール(1)
コメントページ(1)

2015年09月07日

Day18 青森県弘前市

18日目

朝ごはんで同席した方から、
有機野菜の栽培と販売方法について話を伺う。
ううー～む、これも奥が深い、、、

自分はそんな情熱をもって、
仕事が出来ているかな～と思いにふける。

荷造りをして出発。

弘前城入口
ん？自転車？

ええ～！？ そのまま入っていいの！？

門をくぐるのに抵抗感が

追い越されたので、付いていく

学生トレインに参加

やつら平然とした顔で、けっこうやる。

天守閣は移動中
石垣の修復をしているそうです。

学生以外のチャリともすれ違う。

自転車で入れたりするから、生活道路にもなっていて、
それが地域とお城の繋がりを強めているのかも。

さてさて、今日はいよいよ本州を離れる予定です。

青森港までは40㎞、楽勝だな！

道の駅 なみおか

アップルヒルオリジナル
手作りスイーツ

アップルパイおいしいなぁ

青森は、でっかい！
土地の使い方が豪快

道端にはノーガードのリンゴ畑

青森の市街地に突入！

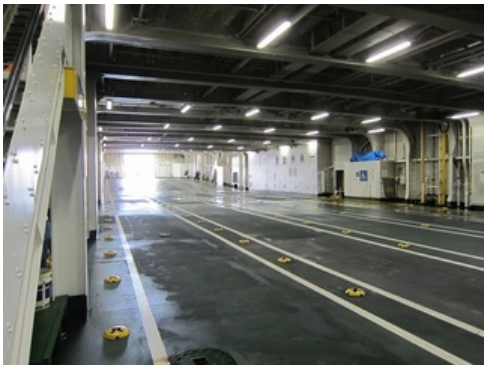
フェリー乗り場に到着

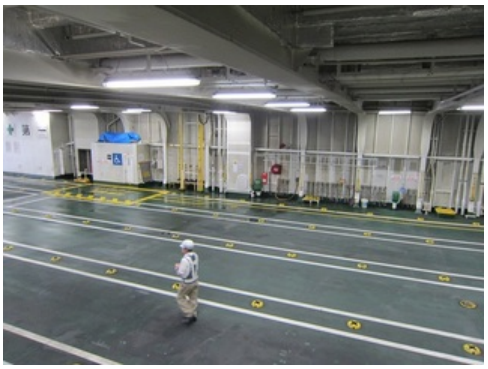
通りかかりのおっちゃんに
「にいちゃん、北海道行くならそっちじゃないぜ」と教えられる。
うおお、危ない危ない、、、

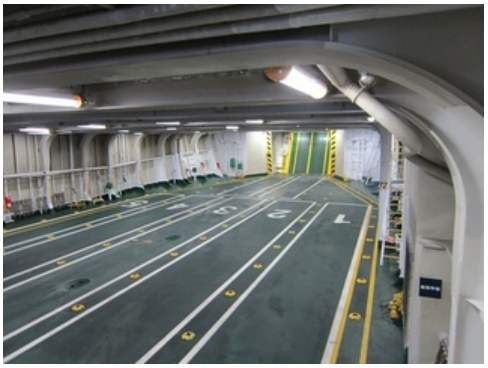
青函フェリーはこっちでした。
おっちゃんサンキュー。

意外と安い

フェリーは、自転車をそのまま積み込めます。
(分解して輪行袋に入れなくても大丈夫)







なんかカッコいい！

快適な船内
カプセル的な仮眠室まである

日本人の職人性
船さえ定刻に着いてしまう

つきました北海道！

なんか空気が違う。ちょっと肌寒い。

函館駅前
やっぱり函館に来たらあれ見ないとね

函館山入口
あまりのインパクトに笑う

マキバオーの通った道を、自転車で行きたい！
、、、と思っていたら、なんと自転車通行禁止。

しかたなく徒歩で。

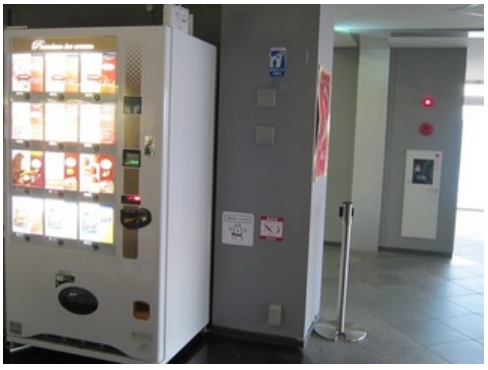
山頂に到着

夕暮れを楽しむ人々

免税受付時間
10:00～21:30
FREE
Wi-Fi
TAX
FREE
HELLO KITTY
Please pay at the cashier.
「CREMIA」
"高級鮮奶油冰淇淋"
北海道産
¥500

LeTAO
LeTAO
LeTAO
LeTAO
LeTAO
ドゥーブルフロマージュ
1,728
DOUBLE FROMAGE

かなりオシャレに、近代的に観光地化されています。
価格帯も高め。



アイスだってハーゲンダッツ

日暮れとともに光が広がってゆく

ロープウェイで降りてくると、登り方向は大行列

今日の宿はライダーハウス
（北海道特有？むちゃくちゃ安くてほったらかしの宿）

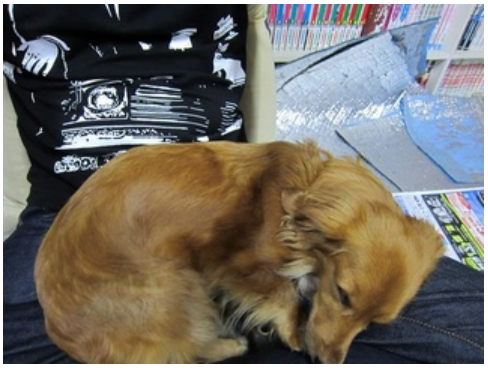
しかし圧倒的な密度だ、、、

オーナーさんに教えてもらった温泉へ

帰り道
半袖だと結構寒い。本州と全然気温が違う。

宿に戻ると、宴会が始まっていた。

年齢を超えた旅好きの集まり。とても居心地が良い。
そうか〜、北海道旅行者はこういうのを毎日やっているのか。
オーナーがここに移住して宿を開いたのも分かるなぁ。

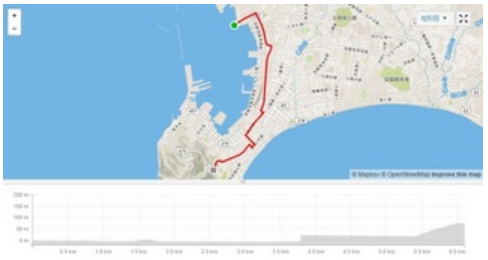


函館の夜が更けてゆく

Day18 走行データ

弘前→青森港

走行距離：40.7 km
獲得標高：182 m



函館港→函館

走行距離：6.1 km
獲得標高：64 m

いいね！ 0 ツイート 0

posted by Takashi Inoue at 00:00| 旅日記

Powered by さくらのブログ

リュックひとつで自転車旅行

のんびりと東京から北海道まで

カテゴリ

目次(1)
旅日記(26)
装備について(2)
プロフィール(1)
コメントページ(1)

<< Day18 青森県弘前市 | TOP | Day20 北海道亀田郡 >>

2015年09月08日

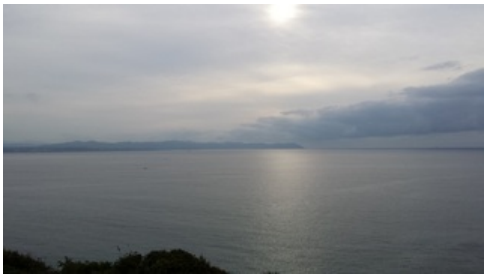
Day19 北海道函館市

19日目の朝

いや～昨晩は本当に楽しかった！
毎日あんな宴会をやったら、そりゃ幸せだよ。
連泊する人がいるのも納得。

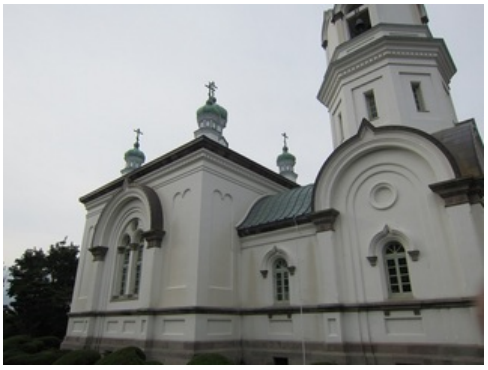
今日は、昨晩教えてもらったスポットを巡ります

立待岬(たちまちみさき)に到着



北海道らしい雄大な景色、冷たい空気
時間を忘れて彼方を臨む

函館山周辺にも行ってみようかな
街並みがとても綺麗なんだとか



柔らかい時間が流れる

赤レンガ倉庫へ

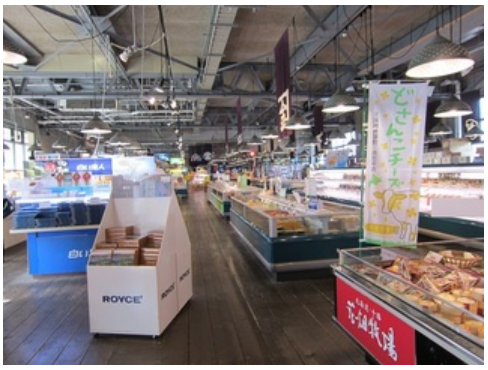
開放感

コーヒーを飲みながら、赤レンガの開店時間を待つ。

注文時に店員さんと色々話していたら
「北海道ならニセコおすすめですよ～」と教えてもらう。
キラッキラの笑顔でおススメされると、なんだか嬉しくなってしまう。

函館いいなぁ。
一日で大ファンになってしまった。

B R
TAKEOUT KITCHEN
SOUVENIR


ROYCE'

たこしゃぶ
利尻島名産

ロイズのチョコポテチ、大好物なんです。
どこかの段階で買おう。

オシャレだけど、カジュアルさもあって入りやすい。

あ、あれは函館の二大巨頭、
ラッキーピエロとハセガワストアじゃないか！

ラッキーピエロ … 函館地区のみで展開しているハンバーガーショップ
チャイニーズチキンバーガーが定番。

ハセガワストア … 函館地区のみで展開しているコンビニ
〝やきとり弁当〟という名前の、豚串弁当が人気。

でも、いまは海鮮の気分！
朝市に向かう

奮発してウニいくら丼！
うまうまっ！

ホタテ焼きも食べてから、出発。
こりゃあ移住したくなる気持ちも分かるなぁ

五稜郭タワー

赤松街道を抜けて

ラッキーピエロ本店！

なんだろう、この雰囲気
とても清潔感があるのにカオス

チャイチキ！
（チャイニーズチキンバーガー）

うまうまっ！ ボリュームもあるし、全然安っぽくない。
デミグラスソースの掛かったポテトも良いね！

お客さんがひっきり無しに入ってくるし、
地域に愛されているんだなぁ。

お土産コーナーも充実

そして本日の宿泊地、大沼公園へ

駒ヶ岳を臨む

途中から、まるっきり森
本当にこっちで合っているんだろうか、、、

突然オシャレなレストラン

そして本日のお宿

周囲は三軒だけ。
高級レストランがあるところを見ると
ここは別荘地なんだろうなぁ

最寄駅の池田園へ行ってみる

おおお～、無人駅良いですねぇ。

しばし堪能していると、人影が。
近くに住む方で、無人駅の四季を写真に収めているんだそうな。

旅行の話や、熊の話、地域の生活など、雑談に花が咲く。

ひとしきり話したあとは、
宿に戻ってすぐシャワー、そして即就寝。
だって寝不足なんだもん、、、

Day19 走行データ

函館→大沼

走行距離：42.0 km
獲得標高：482 m

いいね！ 0 ツイート

Powered by さくらのブログ

リュックひとつで自転車旅行

のんびりと東京から北海道まで

カテゴリ

目次(1)
旅日記(26)
装備について(2)
プロフィール(1)
コメントページ(1)

<< Day19 北海道函館市 | TOP | Day21 北海道長万部町 >>

2015年09月09日

Day20 北海道亀田郡

20日目の朝
いや～よく寝た！ 寝起き快調！

森を抜けて、大沼公園駅へ

貸自転車の台数が多い

昨日今日は人気(ひとけ)が無いけど、
ハイシーズンは、たくさんお客さんが来るんだろうなぁ

貨物列車と競争

晴れたら、たぶん絶景

地域の生活を思わせる

主要幹線に合流

北海道は意外と道が悪い。
人口に対して土地が広すぎるからかな。

朝カツ（朝からカツサンド）

お会計の時に、店員さんに話かけられる。
「僕もロードやってたんだよ〜」
「これから北に行くの？ だったら長万部までは楽だよ。そのあと地獄だけどね(笑)」

ロードやってた人が地獄って、、、超不安、、、

漁師町を抜けてゆく

ずっとこんな感じ

今日の海は、ちょっと濁っている

とにかく家が無い

街が見えてきた～！ 言いようのない安堵感

街 – 荒野 – 街
その間隔がとても長い

またしばらく荒野かも

心細い！

海岸沿いに牧場
Springbankみたいな感じで、牛乳に塩味が付いたりして。

長万部町に突入

たぶんライダーハウス

街が見えてきた！
セイコーマートは市街の証！

お、なつかしの坊ちゃんキャラ

長万部駅

発展しながらも、どこか漁村の雰囲気も持っている

今日は、寄る場所、、、というか街が少なかったので、
ずいぶん早く着いてしまった

観光案内所を覗いてみる

こちらの商品は
おみやげ用
冷凍お弁当です
These are the frozen meals.
An ice pack not included.

まんべくん
長万部限定
まんべくん
空カプセル入れ

おしゃマガジン
vol.5
長万部町

まんべくん

まんべくん激推し

街のあちこちに「歓迎 東京理科大」
まちの規模的に、理科大生の人数はインパクトが大きいのかも

温泉も出てます。

活気無さげに見せかけて、実は、どの宿も予約でいっぱい。
今日は宿を取るのに苦労しました、、、

町をぐるっと一回り

長万部の名物、かにめしを食べに

よっこいしょ。
このあとすぐに、全席埋まって待ち客も。
愛想のいい店員さんと、活気ある店内。

あ、これすごく好き。

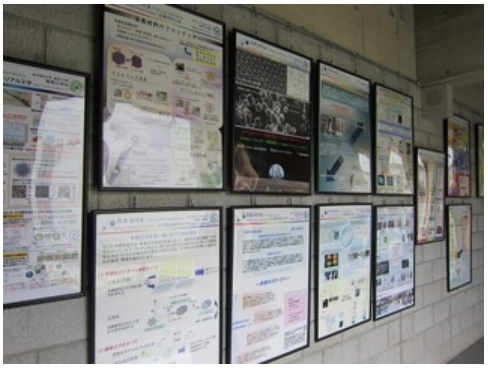
淡泊な味と思いきや、噛めば噛むほど、、、って感じ。
こういうのを、のんびり食べるのって好きだなぁ。

時間が余ったので理科大へ

突入！

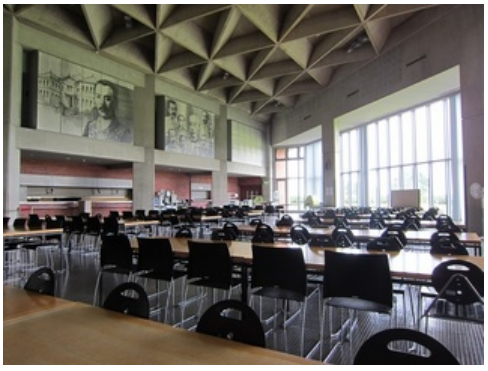
「すみませ〜ん、卒業生なんですけど、図書館って使えませんか？」
「いま夏休みでみんな帰省しちゃってるから、開いてないんだよね。
　校内を見て回るくらいなら良いよ。」

ということで、名簿に記入してから見学開始。
このキャンパスに来るのは初めてなので、ワクワクです。



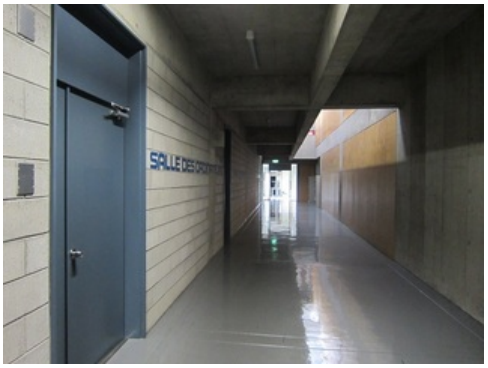
研究紹介ポスター
やっぱりこういう世界は面白いなぁ。

うおお～、いまこんなイメージで売り出してるのか



理科大らしからぬ、この広さ

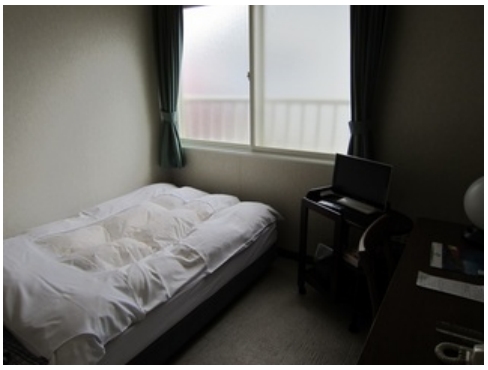
ゼーレ



歩くと電灯がついてゆく！ 近未来！

旅日記を書いて、時間をつぶす

さて、宿に向かいますか～



本日のお宿
ひさしぶりのビジネスホテル

夜ごはんは、宿のオーナーさんに教えてもらったお店へ

うおおおおお！
こんな美味しい海鮮食べたことない！！
これが長万部、これが北海道の実力なのね！！！

女将さんに感動を伝えていると、
地域の方々も会話に加わって
いろんな話に発展してゆくのでした。

北海道、侮りがたし、、、

Day20 走行データ

大沼→長万部

走行距離：83.3 km
獲得標高：366 m

いいね！ 0 ツイート

Powered by さくらのブログ

リュックひとつで自転車旅行

のんびりと東京から北海道まで

<< Day20 北海道亀田郡 | TOP | Day22 北海道札幌市 >>

カテゴリ

目次(1)
旅日記(26)
装備について(2)
プロフィール(1)
コメントページ(1)

2015年09月10日

Day21 北海道長万部町

21日目の朝

宿のご主人と雑談していると、ここにも被災の話が。
北海道南西沖地震(1993年)で、先代の経営していた宿が損壊し、
このホテルを新築することになったそうだ。

どの地域でも突然のリセットが起こり得る。
だから日本では"無常"という思想が発達した。
そんな話を思い出す。

台風の影響で、ムチャクチャな突風が吹く海岸線

今日は余市まで 110km の予定

予約サイトでは余市・小樽の安宿が全部埋まってたけど、
現地に行けば何かあるでしょ。民宿とか。

ずっとこんな感じ。

かまぼこ型を思わせるゆったりしたアップダウンに、
北海道の雄大さを感じる。

街が見えてきて、ホッと一安心。

無人の荒野、パンク、土砂降り、突風、野生動物、
そんな状況になったらキツいなぁ、、、、と心配してました。

開店前の、道の駅で休憩。
自販機も長万部以来だ。

向かい風の中を進む

再び荒野へ

心細い

高原のような景色になってきた。

両サイドが開けていると、ずいぶん気が楽になるなぁ。

農道が無い
これ全部一軒で持ってるってことか

道の駅 らんこし・ふるさとの丘
スマップが流れる駐車場

南部せんべいを買ってみる

パリッパリでメチャうま。
材料はこんなにシンプルなのに。

坂を下って蘭越町

ニセコはもうすぐ

道の駅 ニセコ･ビュープラザ

観光地の空気
スタイリッシュなラベルの商品たち。価格帯も高い。

焼きたてチーズタルト
あまりの美味しさに、恥ずかしげもなくもう一個

柵なし、牛丸出し

倶知安町(くっちゃんちょう)に突入

あのゲレンデ、厳しすぎやしませんか、、、

農業体験、自然の恵み、のんびりと、
リゾートらしい単語が並ぶ

倶知安町の市街地に入る

街の周辺でも、この雄大さ

この取り合わせに街を感じる

函館のライダーハウスで
「時計台は札幌よりこっちがおススメ」って聞いたなぁ

賑わいのある街並み

ぬおおおおお、とんでもない横風！
タイヤが笛みたいにピーピー鳴ってる！

たまらずコンビニに避難
余市が近づいている

オワタ、、、
と思ったら、どこも悪くなってなかった。

登坂登坂～

坂を登り切ったところに、車が止まっていた。

運転手が降りてきて、こちらにむかって
停車指示のゼスチャー。なんだろう、、、

「よかったら、チョコレートもらってくれない？」

うおおおおお！ 嬉しい！
ありがとうございます！

嬉しさで、ペダルが回る

ああいう無償の施しって良いよなぁ。
ちょっとしたことで幸せ全開。世界平和だよ。
僕も誰かにお返ししよう。

″ありがとう″って言えたのも良かった。
突然の出来事だと″すみません″って言っちゃうことが多いんだよね。

『Be Awake / LUNA SEA』を歌いながら疾走！

葉吹雪

トンネルを抜けて

余市町！

余市ワイナリー

駅に到着

余市と言えば、ニッカウィスキー！
宿を取って見学しますか～！

、、、え、、、観光案内所で聞いても全滅なんだけど、、、
小樽もダメだし、、、どうしよう、、、
北海道の寒暖差だと、宿が無いと危ないぞ、、、

、、、よし、腹をくくって札幌だ！
今日、感動のフィナーレだ！！

今日は疲れ知らず。
知らない人からスニッカーズをもらっただけで
こんなに元気になってしまうとは。

『Sweetest Coma Again / LUNA SEA』を歌って絶好調

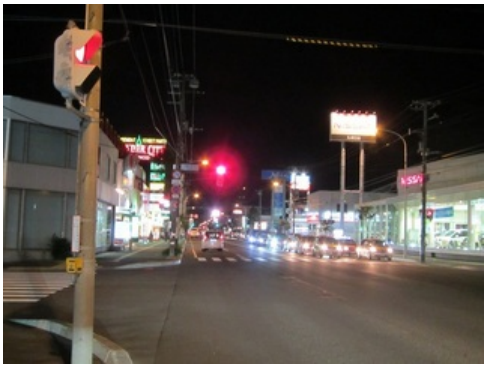
小樽を通過

魔女の宅急便を思わせる、小樽築港

海と空のグラデーション

たそがれ時の柔らかな時間が
旅の終わりを感じさせる

長い坂を下って



内陸へ

札幌駅に到着

長い一日だった

北大に勤める友達に連絡した後、
スーパー銭湯でのんびり。

んま〜！
ビールも海鮮も最高！！！

この旅で見たもの、感じたこと、
学生時代の話、物理の話などしながら
夜が更けてゆくのでした。

、、、旅日記は、もうちょっとだけ続きます。

Day21 走行データ

長万部→札幌

走行距離：176.4 km
獲得標高：1836 m

いいね！ 0 ツイート

posted by Takashi Inoue at 00:00| 旅日記

Powered by さくらのブログ

リュックひとつで自転車旅行

のんびりと東京から北海道まで

カテゴリ

目次(1)
旅日記(26)
装備について(2)
プロフィール(1)
コメントページ(1)

<< Day21 北海道長万部町 | TOP | Day23 北海道札幌市 >>

2015年09月11日

Day22 北海道札幌市

22日目の朝

昨日は、予期せぬゴールになってしまったので
まだちょっと実感の湧かないワタクシ。

まずは昨日のやり残し、余市蒸留所に向かう。

余市駅
朝から観光客で賑わう

余市蒸留所は、駅から徒歩3分

開放的な作りで心地良い

ピートの実物
この状態では香りも特にない

有料試飲コーナー

おお～美味しい！ 複雑で伸びる！
シェリー樽のイヤな感じ(ゴムっぽさ)はゼロ。

うぉぉぉぉ！ これは！！
最高だ～～～～～～～～～～～～！！！

″ヘビリーピーテッド″の先入観をくつがえす
柔らかな香り、まろやかさ、そして甘み。
こりゃたまらん！

立て続けに無料試飲コーナー

余市は10年でも、奥行きがあって美味しいなぁ
帰ったら買おう

飛ぶように売れるウィスキー

ほろ酔いで、余市駅に戻る

小樽駅で途中下車

駅前の魚市場

小樽は海鮮、特にお寿司が有名なんだそうです

しかしシマホッケ定食。
このボリューム！うまうまっ！

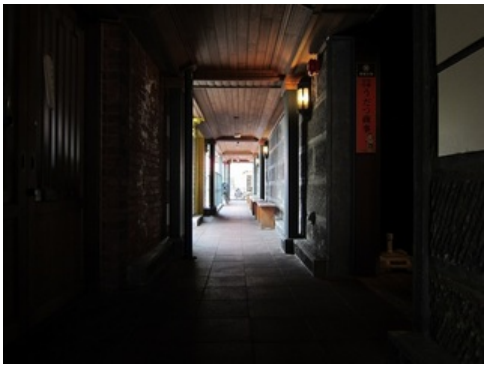
港に向かって、坂を下ってゆく

小樽 総合博物館

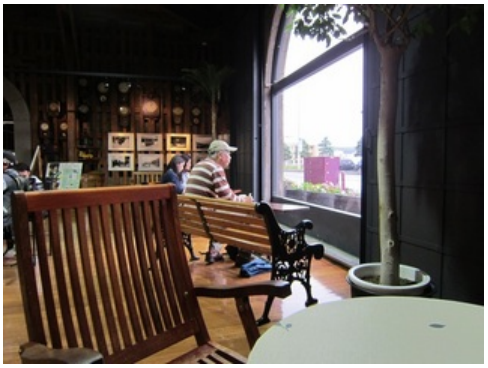
明治～昭和初期、小樽はニシン漁で栄えていたそうです。
当時撮影された御殿や遊郭、舶来品店の写真などを見ると、
巨万の富を得ていたという方が正しいのかも。

小樽運河
夜にはライトアップもされるらしい

レトロな外観を生かしつつ、
内部は近代的で過ごしやすい。



隠れ家的スポット



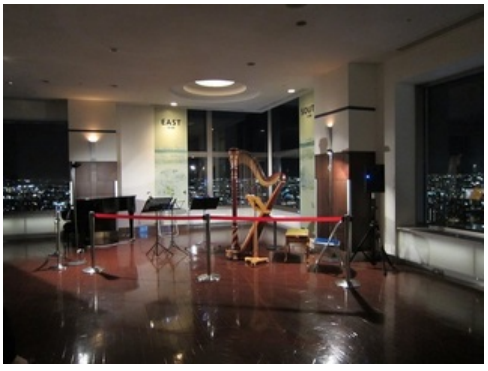
そして、うたた寝

札幌に戻ってきました

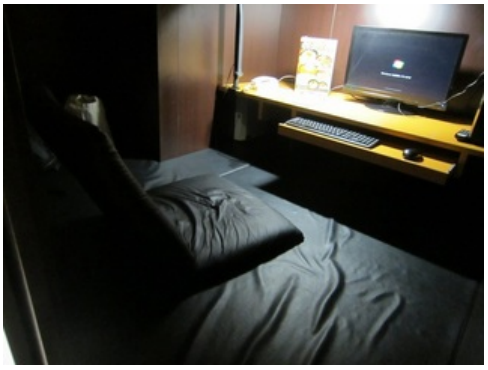
今夜 駅ビルの展望室でコンサートがあるらしい。
いいねぇ、これ聴きに行こう。

お風呂でのんびりと、コンサートの時間を待つ。

本日三回目の札幌駅



ゆったりムードのなか、レベルの高い演奏
バイオリンの表現力が凄い、、、



今日は宿が取れなかったので、初めてのネットカフェ。

まさかこんなに広いとは、、、
ドミトリー慣れしていると、とても快適に感じる。
PCも使い放題で一晩1500円は驚異的だわ。

Day22 走行データ

走行距離：0 km
獲得標高：0 m

いいね！ 0 ツイート

Powered by さくらのブログ

リュックひとつで自転車旅行

のんびりと東京から北海道まで

カテゴリ

目次(1)
旅日記(26)
装備について(2)
プロフィール(1)
コメントページ(1)

<< Day22 北海道札幌市 | TOP | Day24 北海道札幌市 >>

2015年09月12日

Day23 北海道札幌市

23日目の朝

昨晩は「ソフトクリーム食べ放題」などという
暴力的なサービスを見つけ、
一人パーティを開催してしまいました、、、

ネットカフェって、旅人との出会いは無いけれど、
広いし、安いし、PCあるし、想像していたよりずっと快適でした。

旅日記を書きつつ、時間をつぶす

江端くんと再会

※ 大学時代の同級生

現在は北海道大学で研究者をやっている。
（Day21の夜に飲んでたのは、この人）

そして彼が心酔する、らーめん二郎へ

うまうまっ！
ものすごい量(小:2.5玉、大:4.0玉、写真はどちらも小)だけど、
あっさりしていてスルっといけた。
僕もジロリアンの素質あるかも、、、

写真左上に映る、江端くんのささやかな抵抗

「じゃあまた代々木で！」
別れの挨拶を交わした後、北大へ

うおお、なんて広大さ、なんてオシャレ感！
これがキャンパスライフなのね！！
スケッチしている人までチラホラ

母校に地面が無かったので、無性に憧れる(参考)

そして売店へ

会社の先輩に頼まれたものを購入
※ でも先輩は北大出身ではない

続いて図書館へ
（大学図書館は、部外者でも利用できることが多い）

懐かしの物理本などを読んでいたら閉館時間に。
映画でも見に行こうかな～

と思ったけど、立ち飲み屋。
サンマ燻製の炙り、うまうまっ！！

札幌ええ町や、、、
でも、このままだと日常になっちゃいそうだし、
そろそろ帰宅の頃合いかな

Day23 走行データ
走行距離：0 km
獲得標高：0 m

いいね！ 0 ツイート

posted by Takashi Inoue at 00:00| 旅日記

Powered by さくらのブログ

リュックひとつで自転車旅行

のんびりと東京から北海道まで

<< Day23 北海道札幌市 | TOP | Day25 太平洋 >>

カテゴリ

目次(1)
旅日記(26)
装備について(2)
プロフィール(1)
コメントページ(1)

2015年09月13日

Day24 北海道札幌市

24日目の朝

昨晩フェリーの切符を取ったら、朝になってこの雨。
濡れて走るにはちょっと危ない寒さだなぁ、、、

しばし雨脚を見守る

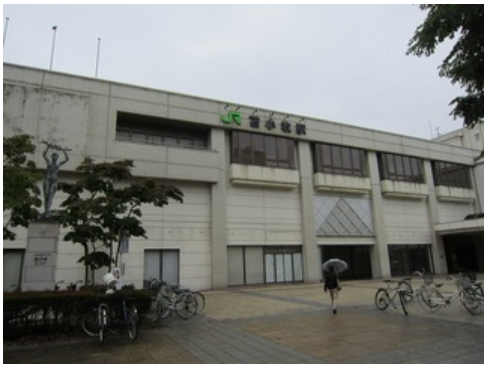
止まない雨に、観念して袋詰め。

肩が、ちぎれそうだ、、、

苫小牧行きに乗車

AirDo、ラッキーピエロ、ハセガワストア、サッポロビール
北海道に根差した企業って多いのかも

新千歳空港を通過
晴れてたら、空港でスープカレーの予定だったんだけどな



苫小牧に到着
時間が余っているので、駅前をブラつく

ドン・キホーテに進入

イオン、サティ、ダイエー、そんな雰囲気

さすがは北海道
バッティングセンター、馬券売り場、ゲーセン、すべてが広い

スープカレーの予定だったので、せめて似たものを

ゆるゆると出発

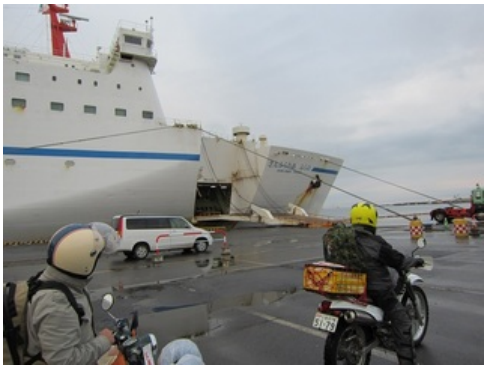
路面がビショビショなので、自転車を引いていたら
ウォークラリーをしている人に話しかけられる。

港っぽくなってきた！

フェリー・ターミナルに到着

空港の雰囲気だ

ロイズのチョコポテチを購入！
これで充実の船ライフが約束された！！

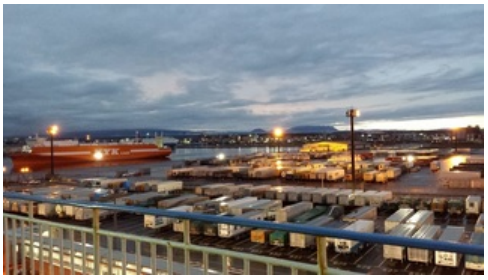


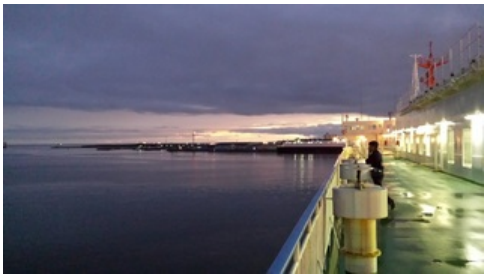
お仲間が一杯

貨物フロアから客室フロアへ

おお～！ワクワクする！

充実の船内設備





デッキも広くて良い感じ

お風呂から上がると、船内に生活感が生まれ始めていた。
そこかしこで開催される、見知らぬ人同士の飲み会。

明日、朝焼け見られたらいいなぁ。

Day24 走行データ

走行距離：0 km
獲得標高：0 m

いいね！ 0 ツイート

posted by Takashi Inoue at 00:00| 旅日記

Powered by さくらのブログ

リュックひとつで自転車旅行

のんびりと東京から北海道まで

カテゴリ

目次(1)
旅日記(26)
装備について(2)
プロフィール(1)
コメントページ(1)

<< Day24 北海道札幌市 | TOP | 旅の終わり >>

2015年09月14日

Day25 太平洋

起きられませんでした、、、
最終日なのに、締まらないなぁ(笑)

気を取り直して朝食へ

オーシャンビューの朝ごはん！
こういう時のスクランブルエッグってなんか良いよね。

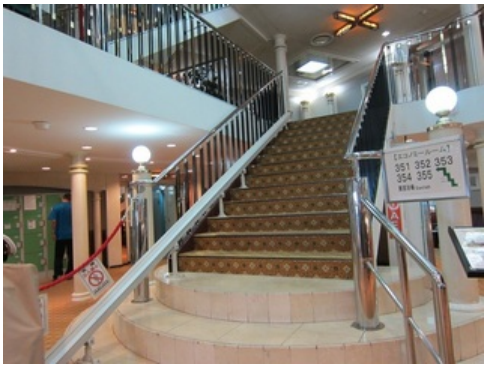
のんびりとした時間を楽しむ人々

展望デッキへ

なぞの軽さ

通り抜ける風が心地良い

リゾートだわ、、、



「もうすぐ到着」のアナウンスが響く
あと2～3日航海していても良かったなぁ

ちょっと気になる

下船の列に並んでいると、
ヒッチハイクの外人さんに声を掛けられる。

彼「東京まで乗せてもらえませんか？」
僕「ごめんなさい、僕自転車なんです」
彼「自転車で良いですよ！、、、なんて冗談です(笑)」
二人「ふふふふふ！！(笑)」
異国語でジョークが言えるって凄いなぁ。

貨物フロアに電波なし、水面下だから？

大洗港に到着
散り散りになってゆくローディたち

東京へ向けてラストラン！

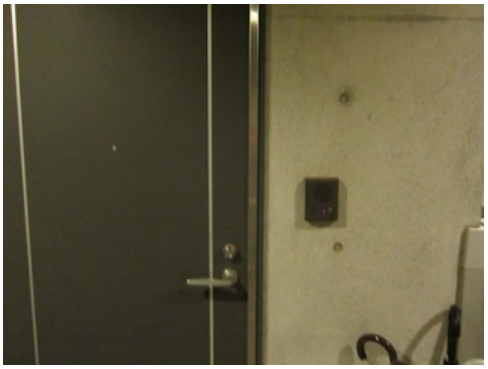
うおおおお！ 速い！！
三日間の休息で、気力・体力ともに絶好調だ！

2時間で60kmくらい走ってしまった

その後は、渋滞に巻き込まれながらトロトロ進み

見覚えのある街並みへ

久しぶりのギラギラ感



そして自宅に到着

Day25 走行データ

大洗→練馬

走行距離：126.7 km
獲得標高：530 m

いいね！ 0 ツイート

Powered by さくらのブログ

リュックひとつで自転車旅行

のんびりと東京から北海道まで

<< Day25 太平洋 | TOP | 装備について >>

カテゴリ

目次(1)
旅日記(26)
装備について(2)
プロフィール(1)
コメントページ(1)

2015年09月15日

旅の終わり

『リュック一つで自転車旅行』
東京から北海道まで、25日間、走行距離 1831km、獲得標高14589m の旅でした。

見知らぬ土地を巡り、たくさんの方々と出会った今回の旅行は、
僕にとって本当に貴重な経験となりました。

そして、僕のなかに増えたであろう多くの引き出し。
それを引き出すタイミングは、いつ来るか分からないし、
もしかすると一生来ないのかもしれません。
でも、それくらいが調度良いような気もしています。

「旅の意味って何だろう？」
旅行中に何度か考えたことなのですが、
いまはひとつの答えを持っています。
「旅した場所を自分の故郷に出来る」
たくさんの場所・たくさんの生活を
自分事として捉えられるようになるのが、
旅の意味なんだと思います。

最後までお付き合い頂き、ありがとうございました。
これで旅日記はおしまいですが、実はここに書いていない
裏話はたくさんあるので、それはぜひお酒の席ででも。
その時は、みなさんのお話も聞かせて頂けると嬉しいです。

2015年9月15日　井上崇史

いいね！ 0　ツイート 0

Powered by さくらのブログ

リュックひとつで自転車旅行

のんびりと東京から北海道まで

カテゴリ

目次(1)
旅日記(26)
装備について(2)
プロフィール(1)
コメントページ(1)

2015年09月16日

装備について

自転車の装備

③スマホ、カメラ、ウェットティッシュ
④軍手、レンチセット、ピンセット、ハサミ
　チューブ×2、パッチ×10、タイヤレバー×3

走行時に着ているもの

⑦現金、カード、保険証、会社名刺、ユースホステル会員証

リュックの中身

リュックの重さは4.8kg

いいね！ 0　ツイート 0

posted by Takashi Inoue at 00:00| 装備について

Powered by さくらのブログ

リュックひとつで自転車旅行

のんびりと東京から北海道まで

カテゴリ

目次(1)
旅日記(26)
装備について(2)
プロフィール(1)
コメントページ(1)

2015年09月16日

旅生活について

■旅の計画
・時期は5～9月がおススメ（荷物が少なくて済む）
・費用は1日7000円くらいが目安（ユースホステル、ゲストハウスは素泊り1泊2500～4000円くらい）
・伝えやすいコンセプトを考える（千葉一周！小田急線を端から端まで！関東B級グルメ制覇！など）

■旅の準備
・160kmくらいライド出来るようになっておく（初心者でも10回くらい乗ればできるようになるはず）
・ユースホステルの会員証を作る（ユースホステルに安く泊まれるようになる。カタログがもらえる）
・ルートラボのアカウントを作る（高低差も含めて旅行の道のりを検討できるようになる）
・Stravaのアカウントを作る（スマホやサイクルコンピュータで旅行の道のりを記録できるようになる）
・旅の道筋をなんとなく考えておく（1時間15km、1日60～80kmで考えておけば無理がない）

■旅行中(朝起きたら)
・起床時間、天候、体調を見て、今日の宿を決める。(電話かインターネット予約)
　宿の繁忙期や、宿の少ない地域では前日夜のうちに予約しておいたほうが無難。
・どうしても宿が見つからなければ、都市部まで電車で行ってマンガ喫茶に宿泊。
　24時間営業のスーパー銭湯という手もある。最終手段はファミレスで徹夜。

■旅行中(移動中)
・急がない。無理すると足を痛める。
・気になったところに寄ってみる。
・知らない人に話しかけてみる。
・写真を撮る。

■旅行中(宿に着いたら)
・シャワーを浴びる。（周辺に共同浴場などがある場合も。宿主に聞いてみる）
・自転車ウェア等を洗濯する。
　宿や宿周辺にランドリーがあればそれを利用。
　無ければ洗面所で手洗いする。（洗剤を使わないと乾いてから匂う。ペットボトルで携帯するとラク）
・散策ウェアに着替えて周辺を散策してみる。
・相部屋の人、宿主に話しかけてみる。（旅路、明日の予定、周辺のおすすめスポット・食事場所、旅の所感）

■旅から帰ってきたら
・写真にコメントを添えた旅日記を書いてみる。SNSで公開してみる。
（他人からコメントを貰えると楽しい。写真が無いと読んでもらえないが、写真だけでも弱い。
実際に会ったときに「旅日記読んだよ！あの場所自分も行ったことがあってさぁ！」と話が弾むことも）

いいね！ 0 ツイート 0

Powered by さくらのブログ

リュックひとつで自転車旅行

のんびりと東京から北海道まで

カテゴリ

目次(1)
旅日記(26)
装備について(2)
プロフィール(1)
コメントページ(1)

2015年09月16日

著者のプロフィール

井上崇史（いのうえたかし）
1982/01/01 生まれ
旅行と音楽とウィスキーが好きです。

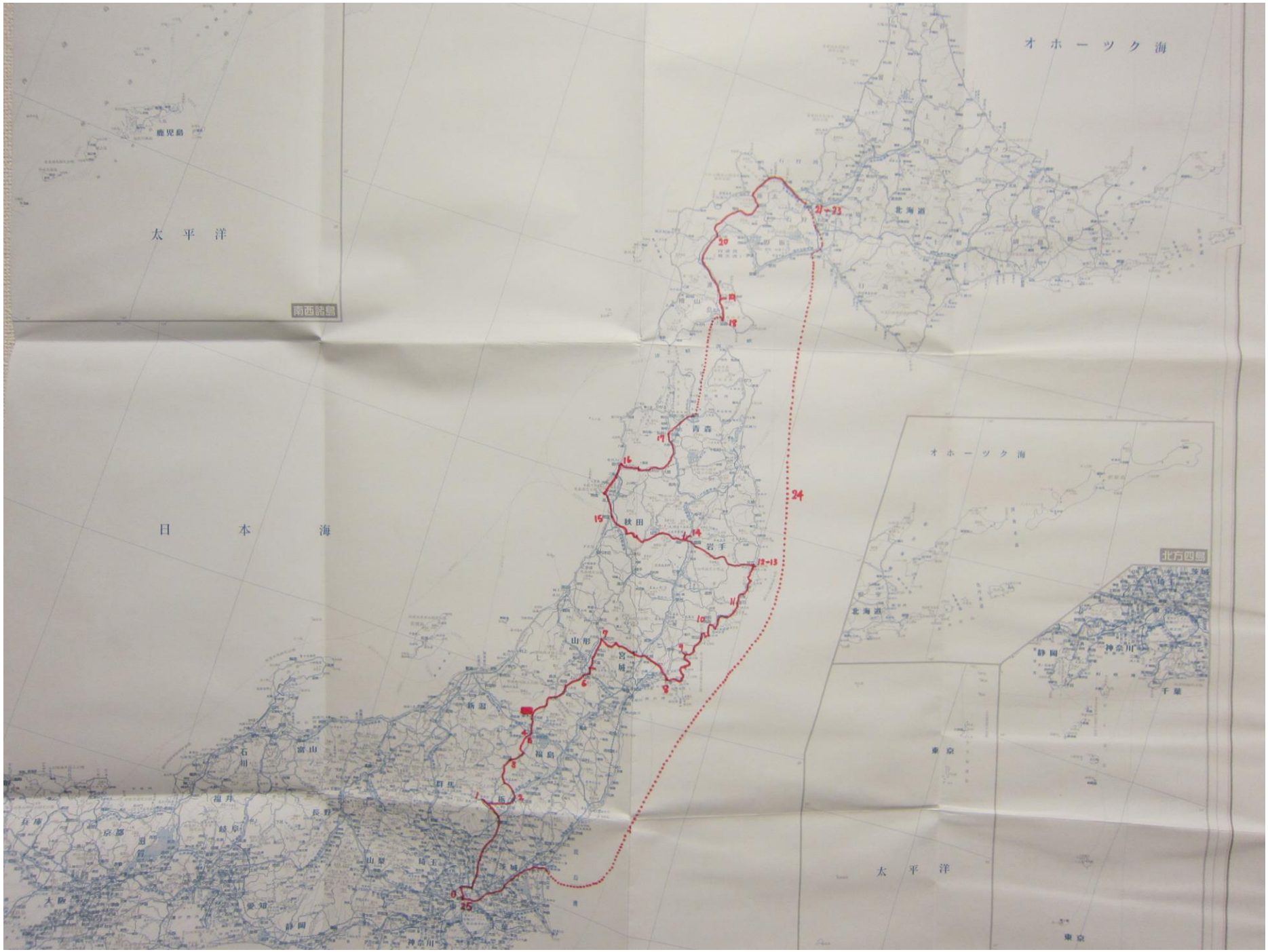
itak0101@gmail.com

http://www.persianblue.net/
http://facebook.com/inoue0101
https://twitter.com/inoue_maj7

いいね！ 0 ツイート 0

posted by Takashi Inoue at 00:00| プロフィール

Powered by さくらのブログ



オホーツク海
太平洋
日本海
北海道
南西諸島
北方四島
鹿児島
青森
秋田
岩手
山形
宮城
新潟
福島
富山
石川
福井
長野
岐阜
京都
大阪
愛知
静岡
神奈川
山梨
埼玉
茨城
東京
千葉
21-23
20
19
18
17
16
15
14
12-13
11
10
9
8
7
6
5
4
3
2
1
0
25
24